



つる
が

tsuruga

資料編

敦賀市勢要覧 2020

資料編

Contents

自然	2
人口	3
行政機構図	4
行政	5
議会	6
財政	8
産業	10
工業	11
商業	11
農業	11
林業	12
漁業	12
土木・建築	13
保健・衛生	14
運輸	15
民生	16
電気・ガス・水道	17
教育・文化	18
消防・救急	22
主な公共施設	23
主なできごと	24
データつるが	29

◎位置と地勢

- 位置 東経136度3分20秒
北緯35度38分43秒(敦賀市役所)
- 面積 251.41km²
- ひろがり 東西約14km 南北約26km



◎地目別面積

(各年1月1日現在) (単位: ha)

年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
宅地及び雑種地	1938.8	1943.7	1946.0	1,951.7	1,956.0
田	1196.6	1193.2	1191.5	1,179.4	1,176.5
畑	236.2	234.7	234.3	233.2	232.7
山林	4059.4	4062.4	4060.9	4,046.0	4,050.4
原野	193.3	193.5	193.4	194.4	194.0
池沼	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
総 数	7624.9	7628.1	7626.7	7,605.3	7,610.2

(非課税分を除く) 資料: 税務課

◎気 象

(翌年1月1日現在)

年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
降水量 (mm)	総降水量	2,378.0	2,092.5	2,760.0	2,560.0	1,793.5
	日最大	85.0	99.0	152.0	151.0	72.5
気温 (°C)	平均	15.9	16.4	15.4	16.2	16.3
	最高	36.8	35.6	36.2	37.2	37.0
	最低	-1.3	-4.8	-1.0	-4.2	-1.4
平均湿度 (%)	70	71	72	72]	72	
積雪最大値 (cm)	64	21	58	57	3	
日照時間 (時間)	1,593.8	1,691.1	1,735.6	1,778.4	1,732.2	

※「】」は資料不足値

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

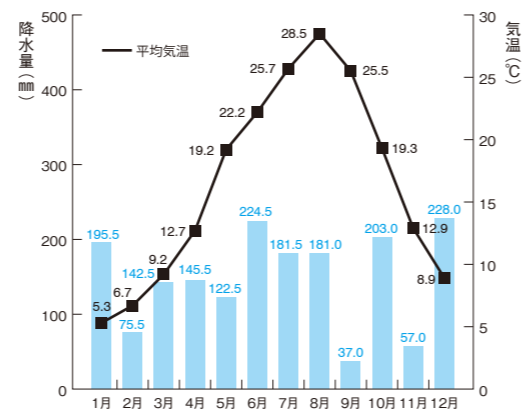
◎天気日数

(翌年1月1日現在) (単位: 日)

年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
不 照	67	49	53	62	50
雨 ≥1mm	180	152	185	172	154
雪	74	50	55	62	49
積 雪 ≥5cm	25	5	19	36	0

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

◎平均気温・降水量
(平成31年/令和元年)



資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

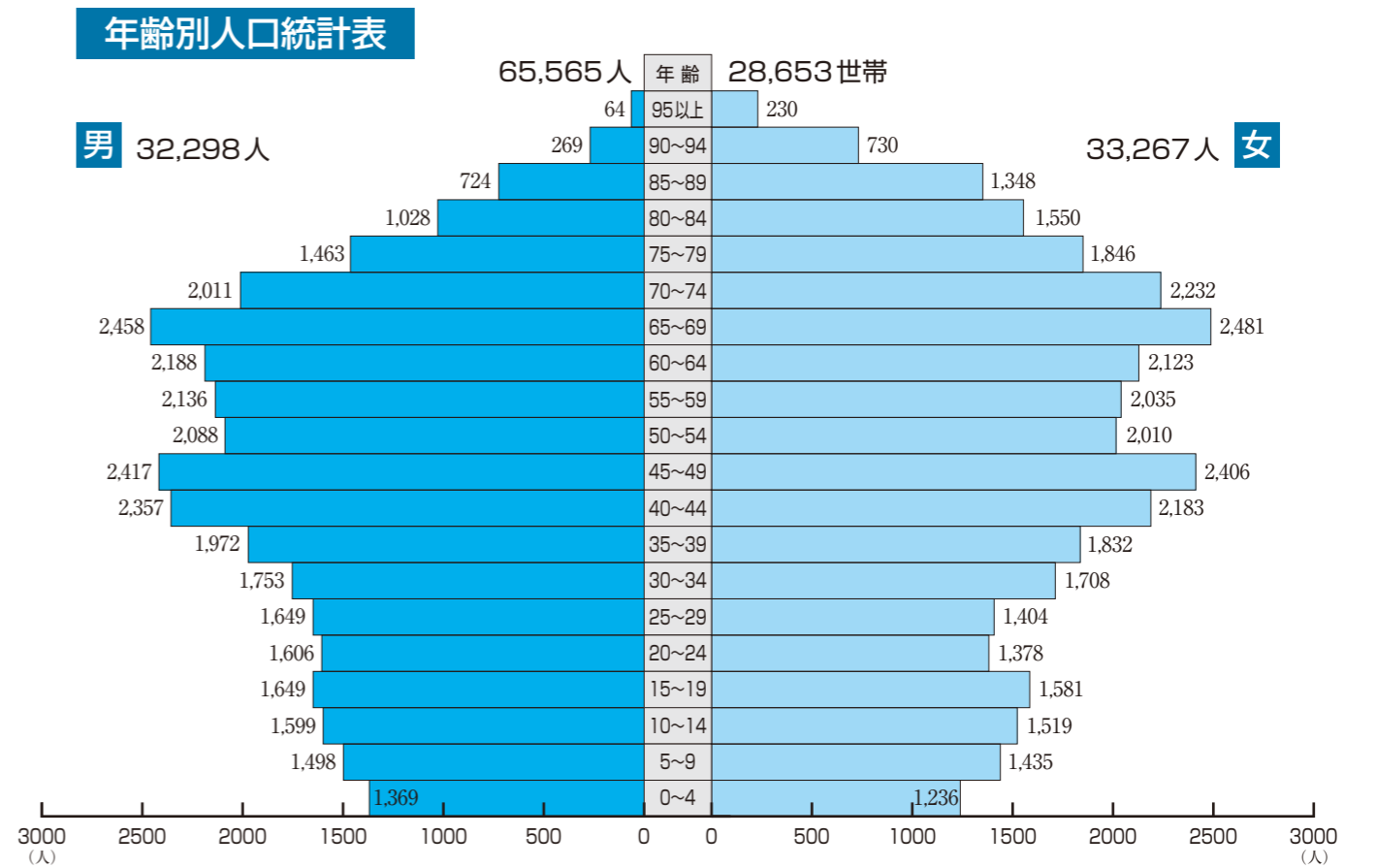
◎世帯数・人口推移

(各年9月末)

年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
世 帯 数	28,283	28,403	28,506	28,651	28,818	
人 口	総 数	67,305	66,914	66,560	66,056	65,599
	男	33,083	32,900	32,736	32,549	32,343
女	34,222	34,014	33,824	33,507	33,256	
65歳以上人口 (対象人口%)	17,524 (26.04)	17,797 (26.60)	18,060 (27.13)	18,325 (27.74)	18,499 (28.20)	

資料: 市民課

◎人口ピラミッド(平成31年3月29日現在)



資料: 市民課

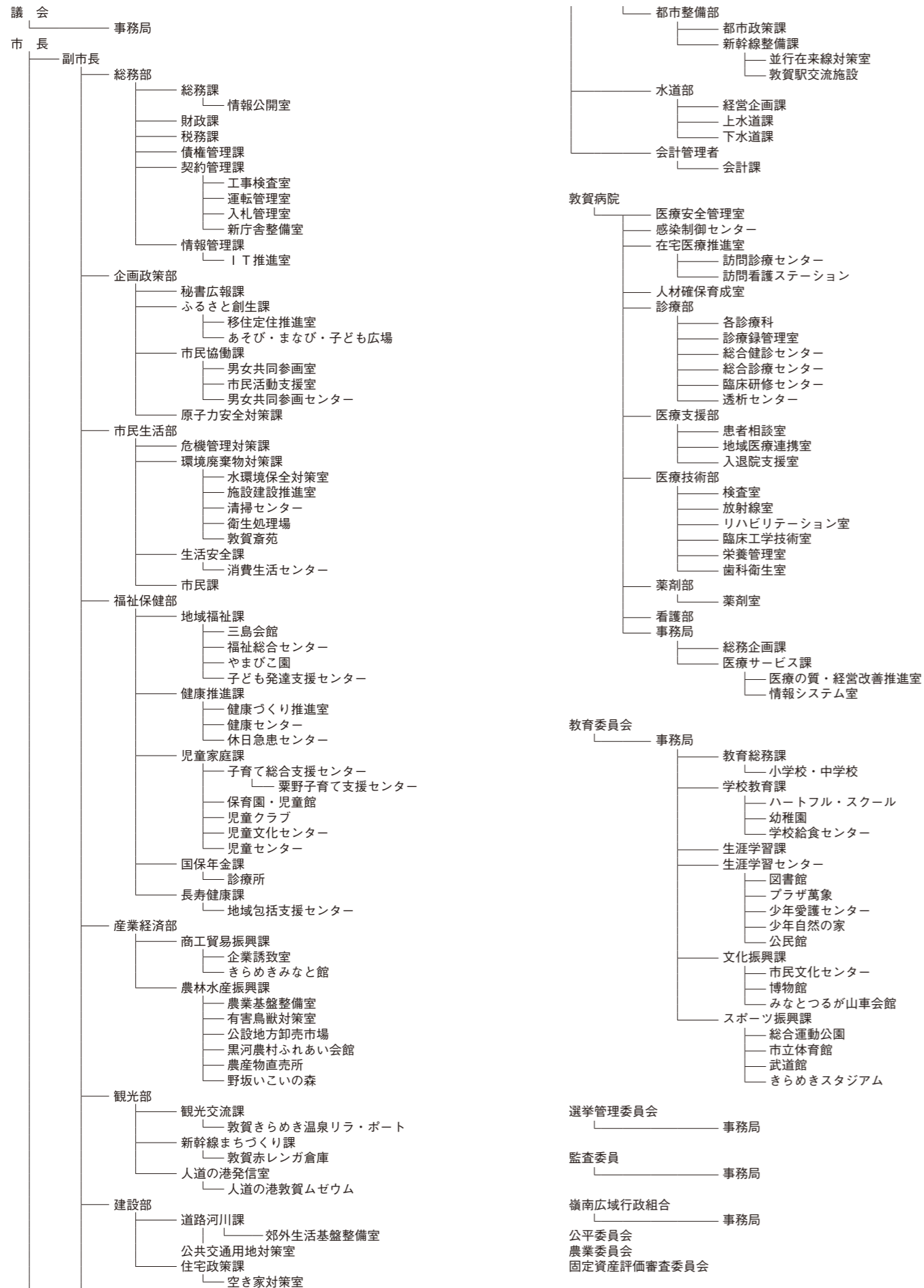
◎人口動態

(各年中) (単位: 人)

年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
自然動態	出 生	595	555	547	480	429
	死 亡	746	747	753	721	753
	増 減	-151	-192	-206	-241	-324
社会動態	転 入	1,701	1,785	1,769	1,821	1,921
	転 出	2,114	1,957	1,920	2,119	2,083
増 減	-413	-172	-151	-298	-162	
差 引 増 減	-564	-364	-357	-539	-486	

資料: 市民課

(令和元年6月1日施行)



(平成29年12月31日現在)

◎歴代市長

歴代	氏名	在職期間
初代	森本 一雄	昭12.4～昭13.12
2	若林 義孝	昭13.12～昭15.12
3	末原 貴一郎	昭16.4～昭20.4
4	田保 仁左衛門	昭20.4～昭21.9
5	川原 與作	昭22.4～昭26.4
6	川原 與作	昭26.4～昭30.4
7	畑 守三四治	昭30.4～昭34.4
8	畑 守三四治	昭34.4～昭38.4
9	畑 守三四治	昭38.4～昭42.4
10	矢部 知恵夫	昭42.4～昭46.4
11	矢部 知恵夫	昭46.4～昭50.4
12	矢部 知恵夫	昭50.4～昭54.4
13	高木 孝一	昭54.4～昭58.4
14	高木 孝一	昭58.4～昭62.4
15	高木 孝一	昭62.4～平3.4
16	高木 孝一	平3.4～平7.4
17	河瀬 一治	平7.4～平11.4
18	河瀬 一治	平11.4～平15.4
19	河瀬 一治	平15.4～平19.4
20	河瀬 一治	平19.4～平23.4
21	河瀬 一治	平23.4～平27.4
22	淵上 隆信	平27.4～平31.4
23	淵上 隆信	平31.4～在職中

◎歴代助役

歴代	氏名	在職期間
初代	水野 定治	昭12.6～昭16.6
2	藤本 重志	昭16.8～昭20.7
3	関 市太郎	昭20.9～昭22.3
4	関 市太郎	昭22.7～昭26.6
5	関 市太郎	昭26.7～昭30.6
6	関 市太郎	昭30.6～昭33.8
7	桃井 孝一	昭33.8～昭37.8
8	桃井 孝一	昭37.8～昭41.8
9	川端 喜代士	昭42.6～昭46.6
10	川端 喜代士	昭46.6～昭50.6
11	川端 喜代士	昭50.6～昭54.6
12	栗原 正	昭54.7～昭58.7
13	栗原 正	昭58.7～昭62.7
14	栗原 正	昭62.7～平3.7

歴代	氏名	在職期間
15	栗原 正	平3.7～平7.5
16	市橋 一義	平7.5～平10.3
17	坂本 直夫	平10.4～平14.3
18	坂本 直夫	平14.4～平17.3
19	多田 清太郎	平17.4～平19.3
	塚本 勝典	平17.4～平19.3

◎歴代副市長

歴代	氏名	在職期間
初代	多田 清太郎	平19.4～平21.3
	塚本 勝典	平19.4～平21.3
2	塚本 勝典	平21.4～平23.5
3	塚本 勝典	平23.6～平27.4
	木村 学	平23.6～平27.3
4	中山 和範	平27.5～平29.3
5	片山 富士夫	平29.4～在職中
	中山 和範	平29.4～在職中

◎歴代収入役

歴代	氏名	在職期間
初代	奥井 加一	昭12.6～昭14.10
2	中西 幸次郎	昭14.11～昭16.11
3	安田 庄吉	昭18.2～昭21.12
4	杉島 栄三郎	昭22.5～昭24.8
5	家倉 梯二郎	昭24.9～昭28.9
6	家倉 梯二郎	昭28.9～昭31.9
7	桃井 孝一	昭31.10～昭33.8
8	岸 丈太郎	昭33.8～昭37.8
9	岸 丈太郎	昭37.8～昭42.9
10	川田 義一	昭42.9～昭46.9
11	川田 義一	昭46.9～昭50.9
12	川田 義一	昭50.9～昭53.3
13	藤田 一雄	昭53.4～昭57.3
14	伊藤 卓爾	昭57.4～昭61.3
15	伊藤 卓爾	昭61.4～平元.3
16	吉村 栄	平元.4～平5.3
17	吉村 栄	平5.4～平9.3
18	坂本 直夫	平9.5～平10.3
19	内藤 久米男	平10.4～平14.3
20	靄田 義孝	平14.4～平17.3
21	寺澤 二郎	平17.4～平19.3

市議会の概要

議員定数 (令和2年1月1日現在)

条例定数	現員数
24人	24人

本会議 (平成31年・令和元年)

招集回数		本会議日数
定例会	臨時会	
4回	3回	23日

議会提出議案の審議結果 (平成31年・令和元年)

区分	件数	可決	否決	選任	選挙
条例	1	1			
意見書	1	1			
決議	3	3			
人事	7				7
一般	3	3			
合計	15	8	0	0	7

市長提出議案の審議結果 (平成31年・令和元年)

区分	件数	可決	修正可決	否決	認定	承認	報告のみ	同意
予算	34	33	1					
条例	43	43						
決算	4				4			
人事	22							22
一般	25	25						
報告	15					6	9	
合計	143	101	1	0	4	6	9	22

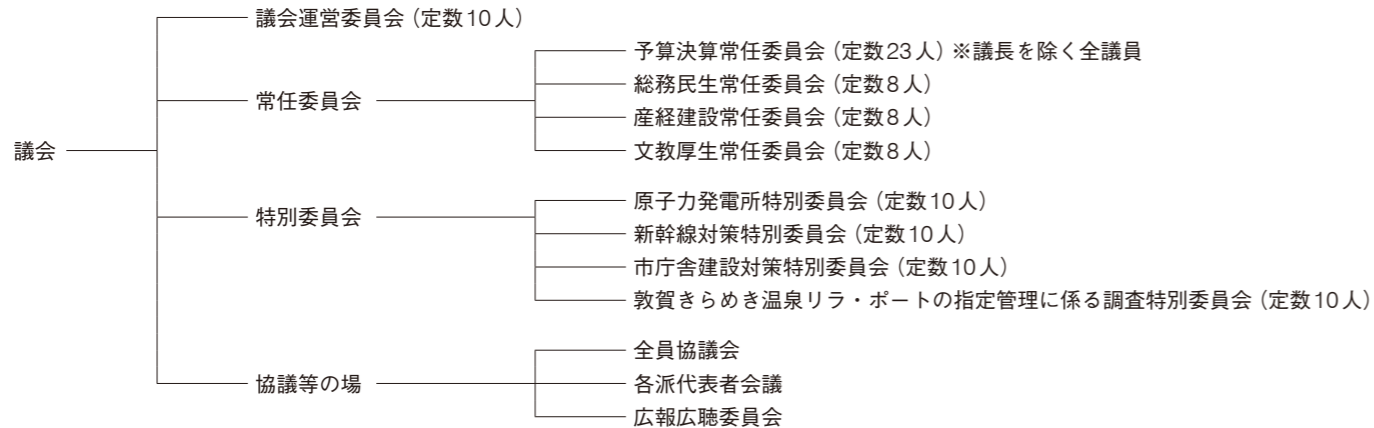
※前年からの継続案件除く

請願・陳情の審議結果 (平成31年・令和元年)

区分	件数	採択	趣旨採択	不採択	継続審議	審議未了
請願	8			8		
陳情	1	1				
合計	9	1	0	8	0	0

議会構成

(令和2年1月1日現在)



市議会議員 (議席順)

(令和2年1月1日現在)

議席	氏名	党派	所属常任委員会	議席	氏名	党派	所属常任委員会
1	今大地 晴美	無所属	総務民生	13	北村 伸治	無所属	産経建設
2	山本 武志	無所属	産経建設	14	川端 耕一	無所属	産経建設
3	中道 恭子	公明党	○総務民生	15	豊田 耕一	無所属	総務民生
4	縄手 博和	無所属	○文教厚生	16	山本 貴美子	日本共産党	文教厚生
5	林 川 恵子	無所属	○産経建設	17	和泉 明	無所属	—
6	石川 栄一	無所属	◎総務民生	18	有馬 茂人	無所属	総務民生
7	三宮 真弓	無所属	○文教厚生	19	福谷 正人	無所属	文教厚生
8	松宮 学	日本共産党	産経建設	20	田中 和義	無所属	総務民生
9	今川 博	無所属	文教厚生	21	馬淵 清和	無所属	文教厚生
10	大塚 佳弘	公明党	◎文教厚生	22	前川 和治	無所属	総務民生
11	浅野 好一	無所属	産経建設	23	立石 武志	無所属	文教厚生
12	中野 史生	無所属	◎産経建設	24	林 正男	自由民主党	産経建設

◎委員長 ○副委員長

歴代議長

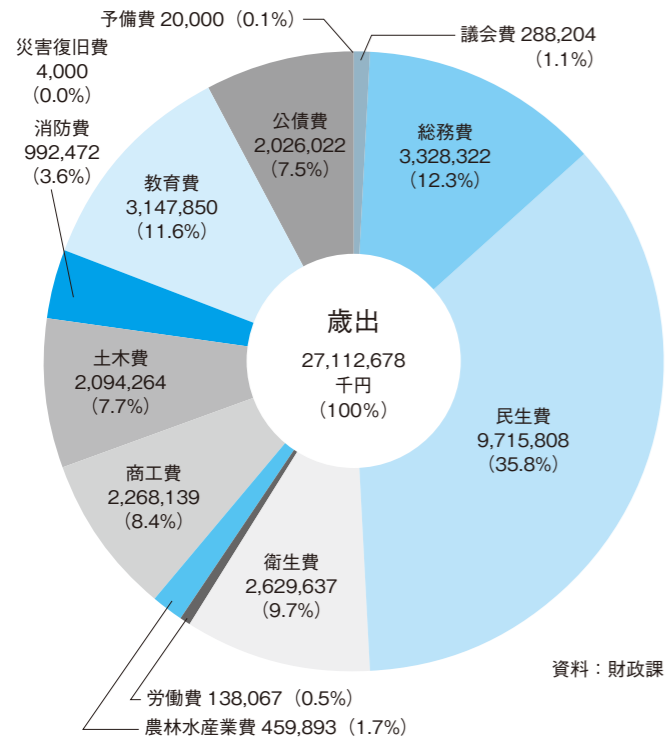
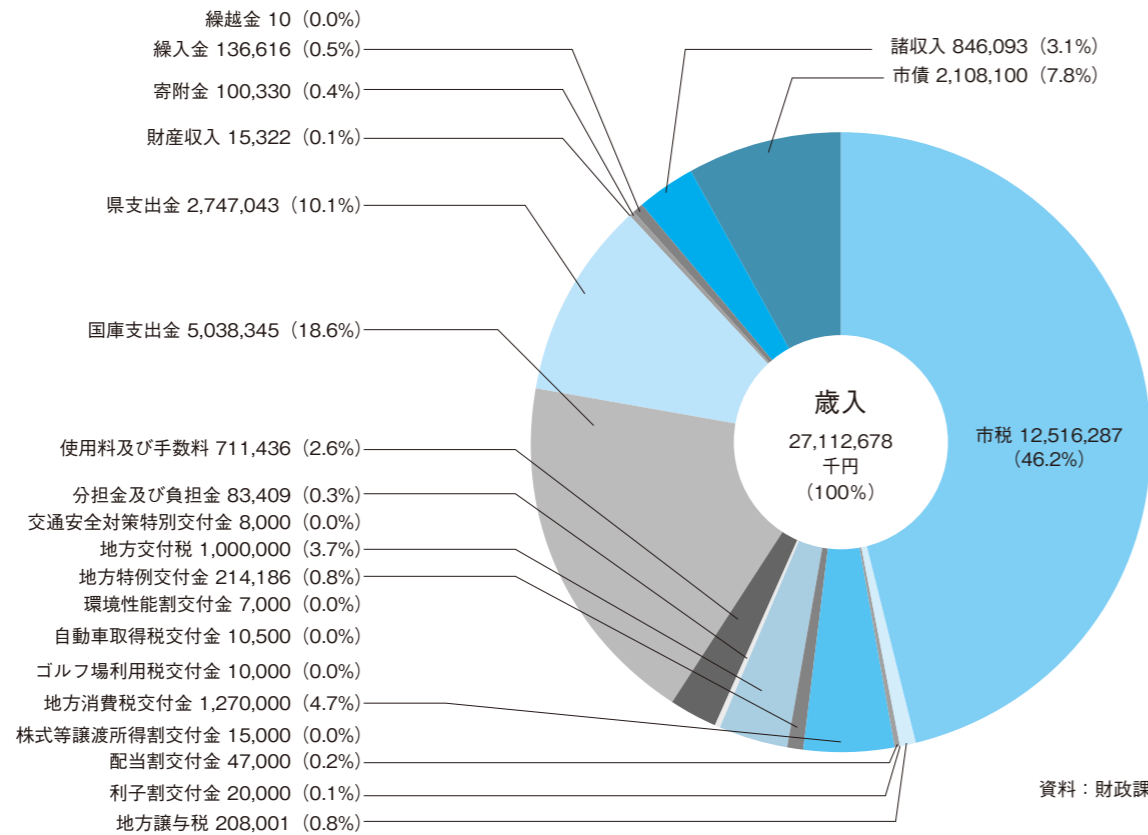
歴順	氏名	在職期間
初代	田保 仁左衛門	昭12.6～昭17.5
2	田保 仁左衛門	昭17.6～昭19.6
3	畑 守 三四治	昭19.6～昭20.4
4	辻 野 長太郎	昭20.5～昭21.9
5	松 永 藤 吉	昭21.10～昭22.4
6	脇 坂 貞二郎	昭22.5～昭24.2
7	田 中 喜三郎	昭24.3～昭26.4
8	田 中 喜三郎	昭26.5～昭30.4
9	田 中 喜三郎	昭30.5～昭31.6
10	吉 川 柳 三	昭31.6～昭34.4
11	有馬 義 夫	昭34.5～昭35.1
12	奥野 伊佐男	昭35.1～昭35.4
13	澤崎 廣 吉	昭35.4～昭37.5
14	中山 一 雄	昭37.5～昭38.4
15	有馬 義 夫	昭38.5～昭39.4
16	保 谷 久一郎	昭39.4～昭40.4
17	小 森 宗 隆	昭40.4～昭42.4
18	山 本 久太郎	昭42.5～昭43.6
19	山 本 久太郎	昭43.6～昭44.6
20	池 田 嘉 市	昭44.6～昭44.7
21	松 田 敏 夫	昭44.7～昭46.4
22	岩 崎 邦 夫	昭46.5～昭48.6
23	長 橋 於 禰 吉	昭48.6～昭50.4
24	山 本 栄 造	昭50.5～昭52.7
25	山 口 良 藏	昭52.7～昭53.6
26	田 辺 繁太郎	昭53.6～昭54.4
27	森 野 良 治	昭54.5～昭56.6
28	有馬 義 一	昭56.6～昭58.4
29	森 口 松太郎	昭58.5～昭59.3
30	有馬 義 一	昭59.3～昭62.4
31	田 中 栄 助	昭62.5～昭63.6
32	沢 崎 貢 実	昭63.6～平元.12
33	中 瀬 実 行	平元.12～平 3.4
34	内 池 宏 夫	平 3.5～平 4.6
35	川 端 道 夫	平 4.6～平 5.6
36	土 手 重 夫	平 5.6～平 5.9
37	村 上 哲 雄	平 5.9～平 6.9
38	岸 本 昭 寛	平 6.9～平 7.4
39	橋 本 昭 三	平 7.5～平 9.3
40	岸 本 幸 之 介	平 9.3～平 9.10
41	上 野 修 一	平 9.10～平 11.4
42	川 端 道 夫	平 11.5～平 12.6
43	辻 秀 雄	平 12.6～平 15.4
44	増 田 一 司	平 15.5～平 18.9
45	水 上 征 二 郎	平 18.9～平 19.4
46	平 川 幹 夫	平 19.5～平 20.6
47	木 下 章	平 20.6～平 21.6
48	岡 本 正 治	平 21.6～平 22.6
49	宮 崎 則 夫	平 22.6～平 23.4
50	堂 前 一 幸	平 23.5～平 25.6
51	常 岡 大 三 郎	平 25.6～平 26.6
52	有馬 茂 人	平 26.6～平 27.4
53	有馬 茂 人	平 27.5～平 29.6
54	原 幸 雄	平 29.6～平 30.6
55	和 泉 明	平 30.6～平 31.4
56	和 泉 明	令元.5～ 在職中

歴代副議長

歴順	氏名	在職期間
初代	仲 村 平太郎	昭12.6～昭14.6
2	辻 野 長太郎	昭14.6～昭17.5
3	辻 野 長太郎	昭17.6～昭19.6
4	山口 文右工門	昭19.6～昭21.9
5	脇 坂 貞二郎	昭21.10～昭22.4
6	前 島 申 孝	昭22.5～昭24.6
7	有馬 義 夫	昭24.6～昭26.4
8	木 村 達 也	昭26.5～昭29.6
9	吉 川 柳 三	昭29.7～昭30.4
10	小 森 宗 隆	昭30.5～昭31.6
11	中 山 一 雄	昭31.6～昭34.4
12	奥野 伊佐男	昭34.5～昭35.1
13	広 比 蛟	昭35.1～昭35.3
14	山 本 久太郎	昭35.4～昭37.5
15	今 井 鼎 藏	昭37.5～昭38.4
16	小 森 宗 隆	昭38.5～昭39.4
17	矢 部 知 恵 夫	昭39.4～昭42.1
18	伊 吹 正 吉	昭42.1～昭42.4
19	池 田 嘉 市	昭42.5～昭43.6
20	松 田 敏 夫	昭43.6～昭44.7
21	田 辺 繁太郎	昭44.7～昭46.4
22	長 橋 於 禰 吉	昭46.5～昭48.6
23	山 本 栄 造	昭48.6～昭50.4
24	森 野 良 治	昭50.5～昭52.7
25	山 東 栄 吉	昭52.7～昭53.6
26	米 岡 豊 一	昭53.6～昭54.3
27	有馬 義 一	昭54.5～昭56.6
28	三 上 繁 男	昭56.6～昭58.4
29	澤 崎 貢 実	昭58.5～昭59.3
30	田 中 栄 助	昭59.3～昭62.4
31	岸 本 寛 一	昭62.5～昭63.6
32	川 端 道 夫	昭63.6～平元.12
33	土 手 重 夫	平元.12～平 3.4
34	橋 本 昭 三	平 3.5～平 4.6
35	藤 田 守 一	平 4.6～平 5.6
36	小 川 英 次 郎	平 5.6～平 7.4
37	安 居 喜 義	平 7.5～平 8.6
38	辻 秀 雄	平 8.6～平 9.10
39	上 山 泰 男	平 9.10～平 11.4
40	中 村 純 一 郎	平 11.5～平 12.6
41	赤 坂 長 太 郎	平 12.6～平 14.3
42	増 田 一 司	平 14.3～平 15.4
43	水 上 征 二 郎	平 15.5～平 17.3
44	堂 前 一 幸	平 17.3～平 18.9
45	立 石 武 志	平 18.9～平 19.4
46	木 下 章	平 19.5～平 20.6
47	奥 本 兼 義	平 20.6～平 21.6
48	高 野 新 一	平 21.6～平 22.6
49	河 端 満 正	平 22.6～平 23.4
50	北 條 正 一 郎	平 23.5～平 24.6
51	籠 幸 雄	平 24.6～平 25.6
52	原 幸 雄	平 25.6～平 26.6
53	山 崎 法 子	平 26.6～平 27.4
54	別 所 治 明	平 27.5～平 28.6
55	和 泉 明	平 28.6～平 29.6
56	田 中 和 義	平 29.6～平 30.6
57	福 谷 正 人	平 30.6～平 31.4
58	馬 淵 清 和	令元.5～ 在職中

(令和2年1月1日現在)

令和元年度 一般会計当初予算額



市有財産の状況

(平成30年度決算)

土地	建物	基金等積立金	出資金その他
2,869,869㎡	362,825㎡	12,597,295千円	1,226,030千円

資料：会計課

令和元年度 特別会計・企業会計当初予算額

会計名	予算額(千円)
港湾施設事業	24,038
国民健康保険(事業勘定の部)	6,945,307
国民健康保険(施設勘定の部)	27,315
介護保険	6,020,057
産業団地整備事業	387,215
後期高齢者医療	758,258
小計	14,162,190
市立敦賀病院事業	8,664,036
水道事業	1,908,483
下水道事業	4,514,777
小計	15,087,296
合計	29,249,486

資料：財政課

一般会計決算の状況

歳入

(単位：千円・%)

区分	年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率
市	税	13,514,936	47.4	-2.8	13,244,518	46.1	-2.0	13,448,847	42.9	1.5
地方譲与税		218,432	0.8	0.3	219,510	0.8	0.5	217,472	0.7	-0.9
利子割交付金		13,170	0.1	-38.8	23,986	0.1	82.1	20,137	0.1	-16.0
配当割交付金		37,337	0.1	-44.4	48,690	0.2	30.4	38,289	0.1	-21.4
株式等譲渡所得割交付金		22,300	0.1	-62.0	50,611	0.2	127.0	32,920	0.1	-35.0
地方消費税交付金		1,223,153	4.3	-9.8	1,204,529	4.2	-1.5	1,256,777	4.0	4.3
ゴルフ場利用税交付金		13,138	0.0	-3.0	11,286	0.1	-14.1	11,889	0.0	5.3
自動車取得税交付金		42,873	0.2	3.4	53,801	0.2	25.5	67,364	0.2	25.2
地方特例交付金		39,494	0.1	2.5	43,545	0.2	10.3	50,950	0.2	17.0
地方交付税		832,902	2.9	0.8	1,074,926	3.7	29.1	1,135,291	3.6	5.6
交通安全対策特別交付金		9,483	0.0	-3.7	9,168	0.1	-3.3	7,678	0.0	-16.3
分担金及び負担金		120,801	0.4	22.9	128,296	0.4	6.2	153,219	0.5	19.4
使用料及び手数料		902,297	3.2	-9.4	893,078	3.1	-1.0	879,411	2.8	-1.5
国庫支出金		4,278,525	15.0	-1.6	4,540,512	15.8	6.1	5,333,535	17.0	17.5
県支出金		2,371,213	8.3	13.6	2,351,607	8.2	-0.8	2,850,007	9.1	21.2
財産収入		120,300	0.4	20.2	64,477	0.2	-46.4	138,217	0.4	114.4
寄附金		3,697	0.0	-89.6	127,402	0.4	3346.1	177,606	0.6	39.4
繰入金		386,568	1.4	31.7	271,245	0.9	-29.8	187,095	0.6	-31.0
繰越金		1,615,236	5.7	-6.4	1,562,143	5.4	-3.3	1,583,288	5.0	1.4
諸収入		844,625	3.0	-12.0	905,491	3.2	7.2	1,256,609	4.0	38.8
市債		1,884,500	6.6	-8.6	1,879,400	6.5	-0.3	2,538,500	8.1	35.1
合計		28,494,980	100.0	-2.6	28,708,221	100.0	0.7	31,385,101	100.0	9.3

資料：会計課

歳出

(単位：千円・%)

区分	年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率
議会費		286,214	1.1	-8.3	279,829	1.0	-2.2	277,525	0.9	-0.8
総務費		3,641,159	13.5	-7.0	3,193,808	11.8	-12.3	3,794,485	12.8	18.8
民生費		9,349,923	34.7	-0.6	9,301,155	34.3	-0.5	9,714,119	32.8	4.4
衛生費		2,595,724	9.6	-1.2	2,622,151	9.7	1.0	2,604,436	8.8	-0.7
労働費		135,921	0.5	-2.4	137,567	0.5	1.2	138,254	0.5	0.5
農林水産業費		662,559	2.5	26.5	566,642	2.1	-14.5	351,014	1.2	-38.1
商工費		1,289,696	4.8	-28.1	1,249,564	4.6	-3.1	1,627,528	5.5	30.2
土木費		2,542,511	9.4	-19.3	3,219,058	11.9	26.6	3,833,691	13.0	19.1
消防費		886,523	3.3	1.4	868,324	3.2	-2.1	956,537	3.2	10.2
教育費		3,717,073	13.8	23.6	3,828,571	14.1	3.0	4,271,762	14.5	11.6
災害復旧費		0	0.0	皆減	63,473	0.2	皆増	28,368	0.1	-55.3
公債費		1,825,534	6.8	-1.3	1,794,791	6.6	-1.7	1,983,417	6.7	10.5
合計		26,932,837	100.0	-2.6	27,124,933	100.0	0.7	29,581,136	100.0	9.1

資料：会計課

●事業所の状況

(平成28年は6月1日現在、平成21年・26年は7月1日現在、平成18年は10月1日現在、平成24年は2月1日現在)

区分	年別	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業、飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、運輸業	電気・ガス、熱供給、水道業	サービス業	公務
事業所数	平成18年	3,874	3	2	513	197	1,762	60	77	107	12	1,111	30
	21年	3,864	7	—	534	192	1,642	64	122	136	13	1,122	32
	24年	3,433	5	1	493	189	1,466	60	119	126	7	967	—
	26年	3,652	5	—	500	183	1,535	55	112	121	12	1,089	40
	28年	3,335	4	—	463	170	1,444	56	107	116	9	966	—
従業者数(人)	平成18年	34,813	18	30	4,666	4,496	10,118	631	235	2,204	655	10,908	852
	21年	36,415	97	—	4,304	3,852	10,157	763	432	2,698	698	12,341	1,073
	24年	33,382	22	3	4,155	4,604	9,594	636	566	2,723	678	10,401	—
	26年	36,072	15	—	4,192	4,366	9,981	667	499	2,566	618	12,241	927
	28年	31,828	77	—	3,911	3,953	9,430	639	538	2,398	524	10,358	—

注：平成18年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加、平成24年・28年は公務に関する公表データなし 資料：事業所・企業統計調査、経済センサス基礎調査、経済センサス活動調査

●産業別・規模別事業所数(平成28年)

(平成28年6月1日現在)

規模	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業、飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、運輸業	電気・ガス、熱供給、水道業	サービス業	公務
1~4人	1,862	1	—	224	79	856	23	66	31	—	582	—
5~9人	687	—	—	116	38	318	15	27	27	3	143	—
10~19人	434	1	—	71	16	188	11	10	18	2	117	—
20~29人	134	—	—	27	8	37	—	2	14	1	45	—
30人以上	194	1	—	21	29	41	7	2	25	3	65	—
派遣・下請従業者のみ	24	1	—	4	—	—	—	—	1	—	14	—
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
総数	3,335	4	—	463	170	1,444	56	107	116	9	966	—

注：国・地方公共団体、「公務」の調査なし 資料：経済センサス活動調査

●産業別就業人口

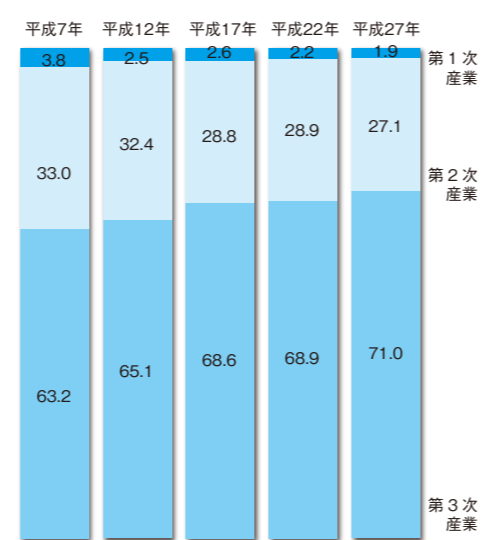
(各年10月1日現在)(単位：人)

産業分類	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
農業	1,178	692	738	619	521
林業	24	28	4	13	12
漁業	177	135	127	95	82
鉱業	60	13	13	6	11
建設業	5,162	5,924	5,104	5,209	4,404
製造業	6,562	5,352	4,699	4,380	4,344
宿泊、卸・小売業、飲食店	7,934	7,561	7,623	7,185	6,741
金融・保険、不動産業	933	898	839	949	940
運輸・通信業	2,262	2,265	2,331	2,322	2,233
電気・ガス・熱供給・水道業	1,086	1,259	1,017	1,120	1,294
サービス業	9,417	9,687	10,460	10,222	10,722
公務	951	1,033	1,109	1,095	1,027
分類不能の産業	26	9	95	162	489
総数	35,772	34,856	34,159	33,377	32,820

注：平成17年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加 資料：国勢調査

●就業人口構造

(単位：%)



資料：国勢調査

(平成23年は平成24年2月1日現在、平成24~26年は12月31日現在、平成28年以降は6月1日現在)

年次・産業別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	産業別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	
平成23年	101	4,026	12,463,901万円	化学	3	211	837,635	
24年	88	3,565	12,025,548	石油・石炭	1	7	X	
25年	84	3,624	11,042,842	プラスチック	7	640	3,812,546	
26年	84	3,660	11,819,628	窯業・土石	9	573	701,394	
28年	81	3,328	10,530,305	鉄鋼	—	—	—	
29年	78	3,811	12,551,759	非鉄金属	1	29	X	
30年	77	3,658	11,770,705	金属	10	111	213,714	
平成30年内訳	食料品	15	325	332,794(万円)	はん用機械	—	—	—
	飲料・飼料	—	—	—	生産用機械	1	6	X
	繊維	4	294	1,275,833	電気機械	3	68	405,032
	木材	2	258	X	電子・デバイス	5	704	2,162,637
	家具	1	4	X	輸送機械	4	53	24,175
	パルプ・紙	3	119	185,281	その他	6	194	649,751
	印刷	2	62	X				

注：平成23年は従業者4人以上の事業所 注：「X」は数字が秘匿されているもの。 資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査
注：平成23年は、平成24年経済センサス活動調査結果

(平成14年・16年・19年・28年は6月1日現在、平成11年・26年は7月1日現在)

年次・産業別	商店数	従業員数	年間商品販売額	商品手持額	
平成9年	1,166	6,337人	20,429,034万円	1,382,186万円	
11年	1,257	7,244	20,329,328	—	
14年	1,117	6,881	18,987,407	1,434,096	
16年	1,068	6,522	17,670,656	—	
19年	961	6,127	18,365,360	—	
26年	697	4,795	15,984,600	—	
28年	735	5,066	15,676,900	—	
平成28年内訳	卸売業	152	1,148	7,579,100	—
	小売業	583	3,918	8,097,800	—
	各種商品小売業	3	342	787,700	—
	織物・衣服・身の回り品小売業	90	294	362,700	—
	飲食料品小売業	180	1,425	2,340,500	—
	機械器具小売業	91	652	1,929,300	—
	その他の小売業	205	1,120	2,289,500	—
無店舗小売業	14	85	388,100	—	

注：「—」平成11・16年は簡易調査のためなし 注：平成19・26・28年は「商品手持額」の集計なし 資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査

●農家数・農家人口

(各年2月1日現在)

年別	総数	販売農家数(戸)				農家人口(人)	
		合計	専業	兼業		総数	農業従事者
平成17年	1,309	743	134	609	80	529	—
22年	1,150	601	135	466	44	422	—
27年	975	502	133	369	20	349	—

資料：農林業センサス

●経営耕地面積

(各年2月1日現在)(単位：ha)

年別	総数	田	畑	樹園地
平成17年	726	—	—	—
22年	678	—	—	—
27年	527	491	22	14

資料：農林業センサス

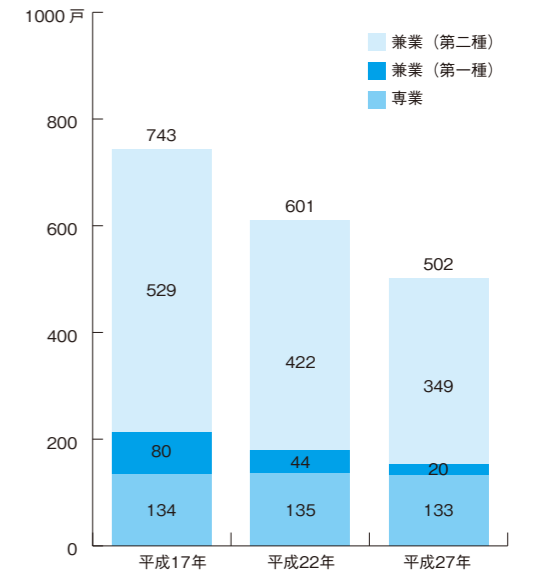
●経営耕地面積規模別農家数

(各年2月1日現在)

年別	総数	0.5ha未満	0.5~1.0ha未満	1.0~1.5ha未満	1.5~2.0ha未満	2.0ha以上	例外規定に該当する農家
平成17年	1,309	822	312	104	29	38	4
22年	1,150	744	238	87	31	46	4
27年	975	627	184	80	27	53	4

資料：農林業センサス

●販売農家数の推移



資料：農林業センサス

●森林面積の内訳

(平成30年3月31日現在)

合計	国有林	民有林
19,891ha	4,786ha	15,105ha

資料：福井県林業統計書

●民有林資源構成表

(平成30年3月31日現在)



資料：福井県林業統計書

●用途別森林面積

(平成30年3月31日現在)



注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの 資料：福井県林業統計書

●漁業経営体数

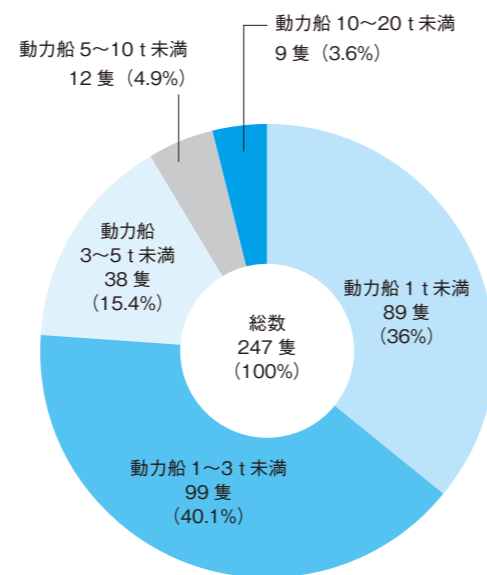
(各年11月1日現在)

年次	計	個人	会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営	官公庁学校試験場
平成5年	144	137	1	2	—	4	—
10年	136	122	—	1	—	13	—
15年	121	118	—	1	—	2	—
20年	110	108	—	1	—	1	—
25年	103	102	—	1	—	—	—

資料：漁業センサス

●規模別漁船登録数

(平成29年12月31日現在)



●漁獲量の推移

(各年12月31日現在) (単位：t)

年次	総数	魚類	貝類	藻類	水産動物
平成25年	809	563	17	1	228
26年	844	607	20	2	215
27年	741	539	19	1	182
28年	812	577	20	1	214
29年	646	431	18	2	195
30年	778	567	11	1	194

(※水産動物：頭足類、甲殻類、棘皮類) 資料：農林水産振興課

●道路

(各年度4月1日現在) (単位：km)

年度別	総数	国道	県道	市道
平成26年度	564.28	50.88	84.0	429.4
27年度	564.36	50.86	84.0	429.5
28年度	566.46	50.86	84.0	431.6
29年度	568.76	50.86	84.0	433.9
30年度	568.86	50.86	84.0	434.0

資料：国土交通省福井河川国道事務所、県土木事務所、市道路河川課

●河川

(平成31年4月1日現在) (単位：km)

通称	延長	名称	数	延長
笙の川	18.31	準用河川	23	42.23
黒河川	6.43	普通河川	120	81.43
木ノ芽川	9.79	砂防指定地 83ヵ所		
井ノ口川	5.35			
五位川	5.95			
助高川	4.09			
三味線川	1.76			

資料：県土木事務所、市道路河川課

●公共下水道

(平成31年3月31日現在)

名称	供用開始面積	管渠延長	処理場面積	処理能力	排除方式
汚水	1,232.9ha	325,008m	69,479㎡	37,575㎡/日	分流式
雨水	—	21,693m	2,963㎡	992㎡/min	
計	—	346,701m	72,442㎡	—	—

資料：下水道課

●市営住宅戸数

(平成31年3月31日現在) (単位：戸)

種別	戸数
公営	1,110
改良	478
日雇	0
特公賃	8
計	1,596

資料：住宅政策課

●都市計画区域

(平成31年3月31日現在)

範囲	行政区域の一部
面積	6,499ha

資料：都市政策課

●都市計画街路

(平成31年3月31日現在)

路線数	路線延長
32	68,170m

資料：都市政策課

●土地区画整理事業

(平成31年3月31日現在)

地区名	施工者	施工面積 (ha)	施工期間
敦賀第一	組合	4.5	昭和14年度～昭和35年度
戦災復興	県	113.5	昭和21年度～昭和31年度
敦賀船溜	県	4.6	昭和26年度～昭和29年度
清水地区	市	26.6	昭和37年度～昭和47年度
和久野団地	共同	20.1	昭和40年度～昭和42年度
昭和地区	市	39.0	昭和40年度～昭和54年度
松島地区	市	91.6	昭和45年度～昭和63年度
筋生野団地	共同	3.8	昭和47年度～昭和48年度
津内団地	個人	1.9	昭和51年度～昭和52年度
余座団地	共同	7.5	昭和53年度～昭和56年度
木崎地区	市	14.4	昭和55年度～昭和62年度
古田刈地区	市	50.9	昭和55年度～平成13年度
野神第一地区	組合	5.8	平成元年度～平成5年度
丸山地区	共同	4.1	平成元年度～平成2年度
東野神地区	組合	11.3	平成元年度～平成5年度
栗野南地区	組合	6.8	平成3年度～平成6年度
櫛川地区	組合	19.0	平成4年度～平成9年度
山泉地区	組合	8.8	平成5年度～平成7年度
堂地区	組合	14.0	平成4年度～平成10年度
筋生野西地区	組合	4.1	平成8年度～平成11年度
筋生野東地区	組合	3.2	平成13年度～平成16年度
市野々地区	組合	6.6	平成14年度～平成19年度
敦賀駅西地区	市	4.7	平成19年度～

資料：都市政策課

●公園

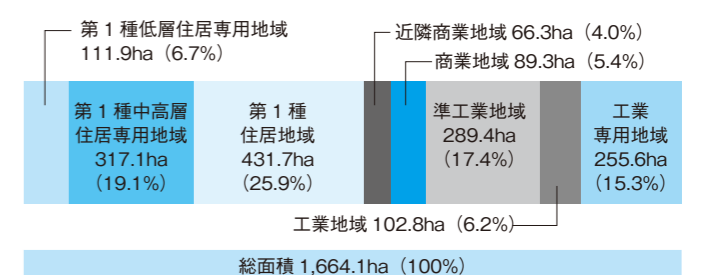
(平成31年3月31日現在)

種別	公園数	面積
総合公園	2	96.2ha
運動公園	1	32.7
近隣公園	4	9.2
街区公園	32	6.9
都市緑地	1	1.0
広場公園	2	0.2
児童遊園地	9	0.4
開発行為による緑地	87	3.6

資料：都市政策課

●用途地域

(平成31年3月31日現在)



資料：都市政策課

医療関係従事者

(各年12月31日現在)

年 別	総 数	医 師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師 (准看護師含)	栄養士
平成22年	1,272	136	36	112	37	24	902	25
24年	1,302	135	36	114	34	32	934	17
26年	1,342	134	29	124	41	30	960	24
28年	1,394	129	32	122	51	32	1,004	24
30年	1,436	126	35	130	54	37	1,033	21

医療施設

(各年10月1日現在)

年 別	総 数		病 院		診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
平成26年	77	1,093	5	1,034	50	59	22
27年	76	1,091	5	1,032	49	59	22
28年	75	1,091	5	1,032	48	59	22
29年	74	996	5	952	46	44	23
30年	75	996	5	952	47	44	23

資料：厚生労働省「医療施設調査」

市立敦賀病院の病床数

(平成31年4月1日現在)

一般病床	感染症病床
330床	2床

資料：市立敦賀病院

市立敦賀病院延患者数

(各年度3月31日現在)(単位：人)

年度別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外 来	175,061	169,961	169,454	170,464	170,696
入 院	94,618	94,759	95,693	97,710	93,442

資料：市立敦賀病院

ごみ処理の状況

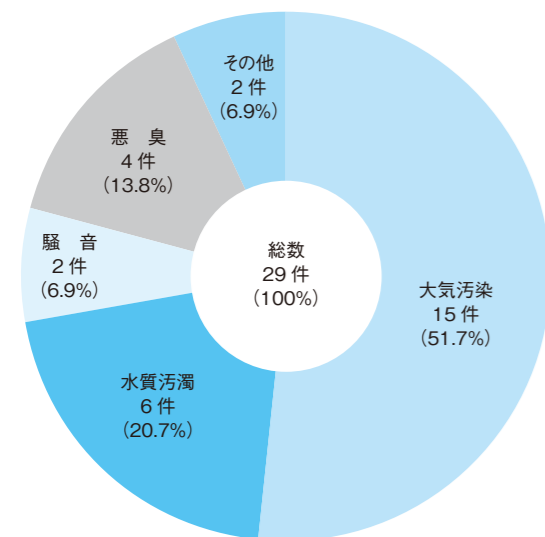
(各年度3月31日現在)(単位：t)

年度別	ご み 処 理 量							
	燃やせるごみ	資源ごみ (ビン含む)	ペットボトル	粗大ごみ (小型複合ごみ・ 水銀含有ごみ含む)	埋立ごみ	古紙類	魚腸骨	計
平成26年度	19,200	1,617	227	2,338	353	1,764	280	25,778
27年度	18,870	1,669	227	2,471	333	1,687	268	25,526
28年度	18,463	1,696	197	2,466	298	1,576	283	24,980
29年度	18,668	1,672	139	2,310	256	1,451	191	24,685
30年度	18,470	1,531	209	2,674	288	1,407	0	24,579

注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：清掃センター

公害苦情件数(平成30年度)



資料：環境廃棄物対策課

資源回収量

(各年度3月31日現在)(単位：t)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アルミ缶プレス	118.55	112.78	101.86
スチールプレス	119.84	133.07	100.02
破 碎 鉄	139.95	136.25	175.78
粗 大 金 属 類	344.98	333.11	303.56
廃 家 電	16.95	26.21	52.09
水 銀 含 有 ご み	33.18	28.94	29.15
被 覆 電 線	4.47	3.89	5.14
プラスチック減容物	164.76	174.06	151.54
ペットボトル圧縮物	159.31	115.28	152.08
カレット 透明	151.47	172.50	138.69
カレット その他色	368.24	347.85	309.13
古 紙 類	1,865.65	1,731.63	1,709.05
魚 腸 骨	282.77	190.91	0.00
二 次 電 池	0.36	0.29	0.31
合 計	3,770.48	3,506.77	3,228.40

資料：清掃センター

リサイクル率・1人1日当たりごみ排出量

区 分	28年度	29年度	30年度
リサイクル率	15.1%	14.2%	13.1%
一人当たりごみ排出量	1,023 g	1,016 g	1,019 g

注：1人1日当たりごみ排出量のごみ処理人口は9月末人口にて算出

資料：清掃センター

JR敦賀駅の乗車人数(1日平均)

(各年度3月31日現在)(単位：人)

年 度 別	乗 車 人 数		
	合 計	普 通	定 期
平成26年度	3,365	2,108	1,257
27年度	3,602	2,267	1,335
28年度	3,611	2,235	1,376
29年度	3,589	2,259	1,330
30年度	3,412	2,077	1,335

資料：JR敦賀駅

自動車台数の状況

(各年度3月31日現在)(単位：台)

年度別	総 数	貨物車	バ ス	乗用車	特種用途車	大型特殊車	軽自動車	二輪車
平成26年度	55,293	4,397	210	23,652	866	569	23,972	1,627
27年度	55,028	4,360	208	23,465	862	570	23,933	1,630
28年度	55,373	4,460	211	23,573	875	569	24,060	1,625
29年度	55,840	4,479	207	23,671	882	574	24,376	1,651
30年度	56,112	4,567	201	23,595	921	581	24,576	1,671

資料：中部運輸局福井運輸支局

海洋出入貨物の状況

(各年12月31日現在)(単位：t)

年 別	輸移出	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
		外 国	432,260	348,665	389,786	296,158
輸移入	内 国	5,379,715	5,709,531	5,798,371	5,875,909	6,216,641
	計	5,811,975	6,058,196	6,188,157	6,172,067	6,434,891
輸移出	外 国	3,645,387	3,351,512	3,352,848	3,493,542	3,668,406
	内 国	5,850,367	6,232,898	6,361,641	6,295,536	7,042,523
輸移入	計	9,495,754	9,584,410	9,714,489	9,789,078	10,710,929

資料：県敦賀港湾事務所

入港船舶の状況

(各年12月31日現在)

年 別	外 航	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
		隻 数	393	363	355
内 航	隻 数	1,762	1,718	1,653	1,656
	総トン数	3,986,769	4,577,739	4,301,498	4,204,000
総 数	隻 数	2,155	2,081	2,008	1,996
	総トン数	15,375,437	15,482,878	15,287,844	16,553,137

資料：県敦賀港湾事務所

フェリー利用の状況

(各年12月31日現在)

年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
入出港回数(回)	767	775	776	752	758
乗客総数(人)	65,203	71,674	75,904	70,892	68,678
トラック等(台)	94,449	91,123	97,479	98,426	98,787
乗 用 車(台)	37,288	32,285	27,028	27,939	28,928

資料：新日本海フェリー(株)敦賀支店

出入貨物品種別の状況

(令和元年12月31日現在)(単位：t)

品 名	輸移出		輸移入	
	内 国	外 国	内 国	外 国
野菜・果物	31,540	431	146,620	254
石 炭			140	2,654,044
石 灰 石			760,907	
非金属鉱物	9,436	18	154,703	69,000
完成自動車	4,536,905		4,186,820	
その他輸送機械	745,960	36,208	934,390	40,302
セメント	114,036	5,030	1,080	
重 油	11,290		13,350	
化学薬品	3,820		150,550	18,203
紙・パルプ	16,420	5,703	93,180	996
その他製造工業品	203,760	18,598	25,200	7,568
再利用資材	19,114	66,078	35,860	54
そ の 他	524,360	86,184	539,723	877,985
合 計	6,216,641	218,250	7,042,523	3,668,406

資料：県敦賀港湾事務所

●福祉施設の状況

(各年度4月末現在)

年度別	乳児院 (白梅学園)			養護施設 (白梅学園)			児童厚生施設			児童文化センター	保育園			指定障害者支援施設 (やまびこ園)				障害者通所施設			子ども発達支援センター	福祉総合センター	隣保館 (三島会館)	養護老人ホーム				
	施設数	定員	収容人員	施設数	定員	収容人員	児童館	児童センター	児童遊園		園数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	通所人員	施設数				定員	通所人員	ホーム数	定員	入所人員
平成27年度	1	9	7	1	50	37	2	1	1	1	21	1,990	1,924	1	30	20	26	27	5	140	143	1	1	1	1	30	30	
28年度	1	9	8	2	50	44	2	1	1	1	24	2,031	1,931	1	30	20	30	24	6	160	144	1	1	1	1	30	30	
29年度	1	9	6	3	50	43	2	1	1	1	24	2,031	1,927	1	30	20	30	25	7	180	159	1	1	1	1	30	29	
30年度	1	9	6	1	44	34	2	1	1	1	24	2,070	1,909	1	30	20	30	24	9	220	170	1	1	1	1	30	28	
31年度	1	10	7	1	44	38	2	1	1	1	25	2,099	1,966	1	30	20	30	25	9	209	186	1	1	1	1	30	27	

資料：地域福祉課、児童家庭課、長寿健康課

●生活保護の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	被保護世帯数 (世帯)	被保護人員 (人)	保護率 (千人当たり) (%)	保護費総額 (千円)	生活扶助 (千円)	住宅扶助 (千円)	教育扶助 (千円)	医療扶助 (千円)	介護扶助 (千円)	出産扶助 (千円)	生業扶助 (千円)	葬祭扶助 (千円)	就労自立等給付金 (千円)	施設事務費 (千円)
平成26年度	248	308	0.46	507,201	165,669	43,321	1,695	269,527	8,050	0	731	902	0	17,306
27年度	274	332	0.49	537,783	169,911	51,853	1,595	290,287	8,570	0	771	529	0	14,267
28年度	298	356	0.53	582,257	186,209	59,339	744	310,545	8,880	197	945	271	0	15,127
29年度	319	393	0.59	598,398	189,612	63,110	989	313,426	11,027	0	1,103	508	0	18,623
30年度	303	372	0.56	636,684	177,892	66,648	1,351	355,231	16,454	0	1,275	771	300	16,762

資料：地域福祉課

●国民健康保険の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	加入状況		保険給付費							高額医療費 (千円)	その他の給付 (千円)
	被保険世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	療養諸費 (千円)					保険者負担額 (千円)			
			一般	歯科	薬剤	療養費	計				
平成26年度	9,538	15,710	4,487,822	314,936	969,675	52,186	5,824,619	4,250,103	559,494	29,655	
27年度	9,298	15,037	4,624,452	308,441	1,027,904	50,741	6,011,538	4,387,605	613,875	28,482	
28年度	8,817	14,038	4,377,948	285,526	952,513	49,667	5,665,654	4,123,298	605,939	23,488	
29年度	8,418	13,289	4,244,628	288,047	930,492	45,416	5,508,583	4,006,594	573,584	19,896	
30年度	8,217	12,770	4,370,487	284,134	866,999	40,236	5,561,856	4,057,157	608,577	17,910	

資料：国保年金課

●国民年金の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	国民年金支給状況				年金加入状況			
	老齢給付	障害給付	遺族給付	計	1号(件)	任意(件)	3号(件)	計(件)
平成29年度	17,396	1,030	139	18,565	5,616	44	4,965	10,625
金額(千円)	11,745,144	875,040	104,076	12,724,260				
30年度	17,644	1,054	127	18,825	5,581	40	4,726	10,347
金額(千円)	11,975,265	894,174	98,566	12,968,005				

資料：国保年金課

●介護保険施設の状況

(各年6月末現在)

年別	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
平成27年	5	316	4	295	1	60
28年	5	316	4	299	1	60
29年	5	316	4	369	0	0
30年	5	316	4	369	0	0
令和元年	5	316	4	369	0	0

資料：長寿健康課

●介護保険認定者の状況

(各年10月末現在)

年別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成27年	364	474	646	602	439	368	397	3,290
28年	395	464	659	645	472	375	350	3,360
29年	374	468	681	660	496	377	337	3,393
30年	444	496	722	636	479	415	316	3,508
令和元年	452	520	736	622	515	395	294	3,534

資料：長寿健康課

●電灯・電力消費の状況

(各年度3月31日現在) (単位：MWh)

年度別	電灯	電力					合計
		業務用	小口	大口	その他	計	
平成26年度	204,889	131,604	47,573	419,098	8,870	607,145	812,034
27年度	196,266	127,853	44,906	425,077	8,273	606,109	802,375
28年度	198,710	130,183	44,948	486,269	8,111	669,511	868,221
29年度	199,402	127,058	44,781	494,517	8,923	675,279	874,682
30年度	189,744	107,504	39,704	356,458	7,710	511,377	701,121

※電灯の使用電力量については、定額、従量、その他の合計で記載してあります。

資料：北陸電力株数営業課

●都市ガス消費量

(各年12月31日現在) (単位：m³)

年別	総数	家庭用	工業用	商業用	その他
平成27年	1,037,943	561,700	—	237,868	238,375
28年	1,019,029	531,634	—	236,301	251,094
29年	1,036,265	538,217	—	237,814	260,234
30年	1,013,360	518,786	—	243,948	250,626
令和元年	1,002,355	509,018	—	248,579	244,758

※45MJ/m³ベース 資料：数質ガス課

●水道の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	給水戸数	給水人口	取水量	配水管総延長	総配水量	有収水量	水道料金
平成26年度	27,337戸	65,386人	10,520,323m³	367,261m	10,520,323m³	9,759,112m³	897,094千円
27年度	27,347	64,766	10,505,083	368,321	10,505,083	9,717,301	895,186
28年度	27,743	65,062	10,710,336	546,655	10,710,336	9,912,908	914,156
29年度	27,886	64,675	10,629,111	546,425	10,629,111	9,828,227	907,622
30年度	28,048	64,181	10,714,025	548,607	10,714,025	9,849,403	912,133

※平成28年度から簡易水道を統合した数値で記載してあります。

資料：水道課

● 学校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	園・学校	学級数	児・生徒数	教職員数
幼稚園	平成27年度	5	23	402	55
	28年度	3	10	155	35
	29年度	3	9	154	31
	30年度	3	9	136	20
	令和元年度	3	9	138	19
認定こども園	平成28年度	4	29	572	69
	29年度	4	30	590	76
	30年度	4	24	601	68
	令和元年度	4	24	632	74
小学校	平成27年度	15	157	3,757	256
	28年度	15	158	3,726	265
	29年度	15	160	3,648	260
	30年度	15	162	3,652	299
	令和元年度	15	161	3,575	294
中学校	平成27年度	6	73	1,920	143
	28年度	6	72	1,860	148
	29年度	6	75	1,833	147
	30年度	6	73	1,750	162
	令和元年度	6	74	1,738	163

資料：学校教育課

● 中学卒業生の進路状況 (平成30年度)

卒業生総数	進学者	就職者							その他
		市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
575	573	1	0	0	0	0	0	1	1

資料：学校教育課

● 高校卒業生の進路状況 (平成30年度)

区分	卒業生総数	進学者	就職者							その他
			市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
敦賀高校	269	216	28	8	4	1	2	1	44	9
敦賀工業高校	114	21	41	39	4	4	0	3	91	2
敦賀気比高校	214	160	17	19	2	0	2	1	41	13

資料：各高校

● 高校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	学級数	生徒数	教職員数
敦賀高校	平成29年度	24	824	79
	30年度	24	816	78
	令和元年度	23	773	76
敦賀工業高校	平成29年度	12	350	53
	30年度	12	351	53
	令和元年度	12	337	54
敦賀気比高校	平成29年度	21	685	86
	30年度	21	685	89
	令和元年度	21	681	88

資料：各高校

● 大学

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	学生数	教職員数
看護大学	29年度	224	46
	30年度	242	47
	令和元年度	248	48

● 市立社会教育施設等

(令和2年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
生涯学習センター	東洋町	事務室1、談話室1、研修室3 鉄骨造2階建・延面積465㎡
東浦公民館	五幡	事務室1、和室2、ホール1、研修室2、調理実習室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積880㎡
北公民館	曙町	事務室1、図書室1、研修室2、和室2、ホール1、調理実習室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積797㎡
南公民館	本町2丁目	事務室1、研修室2、和室2、調理実習室1、ホール1、多目的ルーム1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,780㎡
西公民館	三島町2丁目	事務室1、展示ホール1、美術工芸室1、調理実習室1、小ホール1、大ホール1、研修室3、談話室1、和室1、特別会議室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積2,066㎡
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川	事務室1、和室2、研修室1、ホール1、調理実習室1、会議室1、体育館1 公民館 鉄筋コンクリート2階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建)・延面積847㎡
中郷公民館	羽織町	事務室1、研修室1、調理実習室1、ホール1、会議室2、和室2 鉄筋コンクリート2階建・延面積1,082㎡
愛発公民館	足田	事務室1、会議室1、ホール1、研修室2、和室1、調理実習室1、体育館1、その他(工芸室、多目的室等) 公民館 鉄筋コンクリート3階建(1・2階)・延面積1,960㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,020㎡
栗野公民館	御名	事務室1、会議室1、サロン1、大ホール1、小ホール1、研修室3、研修室(和室)1、料理実習室1、託児室1、図書室1、創作室1、屋上広場1 鉄筋コンクリート3階建一部鉄骨鉄筋コンクリート造・延面積1,998㎡
松原公民館	新松島町	事務室1、研修室2、調理実習室1、ホール1、和室1、ミーティングルーム1 鉄筋コンクリート2階建・延面積1,330㎡
市立図書館	東洋町	事務室1、館長室1、一般閲覧コーナー1、小中学生閲覧コーナー1、幼児コーナー1、読書室2、参考室1、会議室2、研修室1、特別資料室1、書庫2、視聴覚コーナー1、視聴覚器材室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積3,288㎡
視聴覚ライブラリー	東洋町	事務室1、相談室1 延面積128㎡(併用施設)
少年愛護センター	東洋町	事務所2、展示室3、講堂1、地下室2、貴賓室1、収蔵庫3、学芸員室1、作業室1、鉄骨煉瓦造一部鉄筋コンクリート3階建地下1階・延面積1406.183㎡
市立博物館	相生町	事務室1、食堂1、スタッフルーム1、宿泊室20、和室4、研修室1、談話室1、大浴場1、中浴場1、体育館1、クラフト室1
少年自然の家	野坂	鉄筋コンクリート2階建・延面積2,500㎡
市民文化センター	桜町	大ホール1、小ホール1、和室1、多目的室1、練習室1、リハーサル室1、楽屋3、事務室1 鉄筋コンクリート4階建地下1階・延面積5,312㎡
プラザ萬象	東洋町	事務室1、応接室1、大ホール1、小ホール1(能舞台含む)、楽屋2、会議室4、和室4、茶室1、団体室13、多目的室1、配膳室1 鉄筋コンクリート地上1階一部2階建・延面積6,627㎡
みなとつるが山車会館	相生町	事務室1、山車展示室1、山車収納庫1、スクリーンシアター1、常設展示室1、ギャラリー1、研修室1、別館展示室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,537㎡ 別館木造2階建・延面積350㎡ 土蔵造2階建・延面積43㎡

資料：生涯学習課、文化振興課、各施設

● 市スポーツ施設

(令和2年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
市立体育館	松葉町	鉄骨鉄筋コンクリート2階建・競技場1,462㎡(34m×43m) 観覧席収容人員1,279人
東浦体育館	阿曾	鉄筋コンクリート平屋建・競技場553㎡(28.5m×19.4m)
市営野球場	松島町	両翼90m、中堅106m、観覧席収容人員8,500人 敷地面積14,732㎡
松原運動場	松島町	敷地面積10,490㎡
栗野スポーツセンター	長谷	体育館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 競技場1,200㎡(37.5m×32m)、観覧席192席 運動場 敷地面積10,000㎡、夜間照明付(ソフトボール2面) 屋外便所、駐車場
金山体育館	金山	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建・競技場370㎡(25m×14.8m)
中郷体育館	羽織町	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 競技場1,200㎡(37.5m×32m)、観覧席85席、駐車場83台
中郷スポーツ広場	羽織町	多目的広場7,016㎡(ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等) 駐車場21台
きらめきスタジアム	若泉町	敷地面積45,000㎡、ソフトボール球場(学童野球)2面 多目的広場11,165㎡(ソフトボール・学童野球2面) 管理棟・夜間照明付・駐車場79台
武道館	曙町	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建・柔道場405㎡、剣道場405㎡ 空手・拳法室31㎡
花城テニスコート	櫛川	砂入り人工芝コート6面、管理棟・夜間照明付
花城プール	櫛川	25m6コース、水深0.9~1.0m
愛発プール	足田	25m6コース、水深0.9~1.0m
照学校施設開放	気比中	清水町1 屋外運動場照明施設(軟式野球)
	中郷小	岡山町1 屋外運動場照明施設(ソフトボール)
グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」	高野	グラウンド・ゴルフ場8ホール×4コース

資料：スポーツ振興課、観光交流課

● 図書館の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	蔵書数	貸出冊数
平成25年度	252,969冊	318,871冊
26年度	255,742冊	317,779冊
27年度	256,338冊	312,220冊
28年度	262,087冊	298,285冊
29年度	266,845冊	286,673冊
30年度	273,338冊	289,832冊

資料：市立図書館

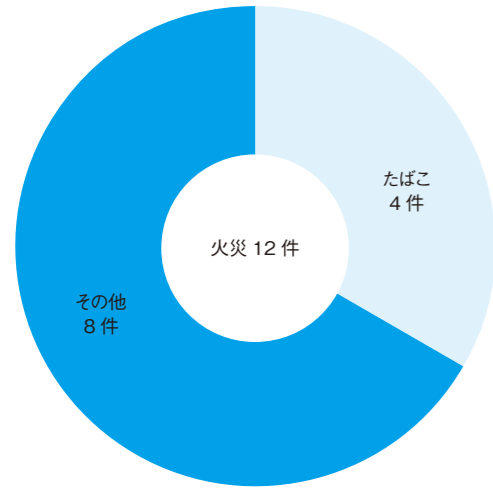
● 総合運動公園

(令和2年1月1日現在)

施設名	施設内容
陸上競技場	トラック…合成ゴムシート(全天候)舗装 フィールド天然芝 1周400m 8コース 収容人員…11,000人
野球場	両翼97m 中堅122m 収容人員…15,000人
テニスコート	全天候型、センターコート1カ所 2面 一般コート3カ所 6面、ウォールテニスコート1カ所
体育館	○第1競技場(38m×52m) ○第2競技場(32m×19m) ○研修室(1面鏡張り) ○幼児体育室
ゲートボール場	○屋内コート2面(サンドフィルタイプ人工芝) ○屋外コート8面(クレイ舗装)
弓道場	○近的射場(射距離28m)10人立 ○遠的射場(射距離60m)6人立
プール	○屋内プール(温水)25m 8コース ○屋外プール50m 9コース ○トレーニングルーム、体力測定室
1.運動施設	
2.レクリエーション施設	
多目的広場	135m×86m
ちびっ子広場	施設面積12,800㎡、大型複合遊具3基 ギャラクライミング、砂場、休憩所3カ所 便所1カ所
ちびっ子ゲレンデ	人工芝ゲレンデ8m×50m及び6m×30m 四阿1基、シェルター1基
ローラーすべり台	総延長415m(7コース)水香場 からくり2カ所、シェルター2、ベンチ11カ所他
3.修景池	
芝生広場	ハツ橋、浮見堂、太鼓橋、花植栽(ショウブ、カキツバタ)

資料：総合運動公園

●平成31年・令和元年 原因別火災件数(敦賀市)



資料：敦賀美方消防組合

●消防関係者数

(平成31年4月1日現在)

消防署員数	消防団員数
148人	746 [40] (284 [24])人

()内は敦賀市 []内は女性消防団員 資料：敦賀美方消防組合

●公設消防水利・消火栓数(敦賀市)

(平成31年4月1日現在)

消火栓	防火水槽	井戸
1,798	164	53

資料：敦賀美方消防組合

●通信施設等

(平成31年4月1日現在)

種別	119番回線(携帯FAX等含む)	職員緊急メール装置	一般加入電話回線(FAX回線含む)	携帯電話(衛星携帯電話含む)	専用電話回線(警察発着所等含む)	指令専用回線	署所端末装置	指令情報出力装置	車両運用端末装置	デジタル簡易トランシーバー	消防用映像情報通信システム	防災情報システム(トンポメール)	音声告知放送システム	CATV防災放送	消防用非常サイレン装置	消防無線(基地、移動携帯局含む)	県防災情報ネットワーク	県広域災害救急医療情報システム	防災気象情報システム	緊急情報ネットワークシステム(ムネネット)	全国瞬時警報システム(J-ALERT)
数	16()	1()	14(10)	19(13)	6()	4(2)	4(2)	5(2)	20(14)	29(21)	1()	1()	2()	2()	2()	150(70)	1()	1()	1()	6(3)	3()

()内は敦賀市 資料：敦賀美方消防組合

●消防用機械

(平成31年4月1日現在)

区分	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	化学消防自動車	救急車	はしご付消防自動車	救急車	指令車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	その他
敦賀消防署	2	2	1	1	2	2	4	3	—	3	11
敦賀消防団	13	—	—	—	—	—	—	—	8	1	—

資料：敦賀美方消防組合

●火災の状況(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	火災件数			り災世帯数	り災人員	焼損棟数	建物焼損面積	死者	負傷者	損害額
	総数	建物	野外							
平成27年	12	7	5	4世帯	8人	7棟	184.00㎡	0人	1人	31,320千円
28年	17	15	2	15	49	24	763.00	3	6	70,418
29年	16	8	8	7	17	10	402.00	2	4	20,861
平成30年	18	9	9	5	8	13	16,410.65	1	0	1,773,750
令和元年	12	6	6	4	15	6	181.21	0	1	18,616

資料：敦賀美方消防組合

●救急出動(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成27年	2,712	7	—	11	208	19	23	352	6	18	1,675	393
28年	2,776	25	1	4	211	16	12	368	10	21	1,723	385
29年	2,703	11	—	8	198	22	19	413	4	25	1,649	354
30年	2,796	9	2	6	190	31	14	386	6	13	1,827	312
令和元年	2,784	11	1	10	160	27	19	428	9	28	1,762	329

資料：敦賀美方消防組合

●救助出動(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械事故	その他
平成27年	69	12	33	10	—	2	12
28年	66	26	30	4	—	—	6
29年	56	12	26	7	—	2	9
30年	42	14	19	2	0	0	7
令和元年	32	0	21	5	0	0	6

資料：敦賀美方消防組合

●交通事故

(各年12月31日現在)

年別	総事故件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
平成27年	1,833	175	3	214	1,658
28年	1,743	152	2	187	1,591
29年	1,778	84	3	97	1,694
30年	1,864	116	6	135	1,748
令和元年	1,647	103	4	117	1,544

資料：生活安全課

●市の施設

〈市庁舎・関連施設〉

名称	所在地	電話
敦賀市役所	中央町2丁目1-1	21-1111
敦賀美方消防組合消防本部	中央町2丁目1-2	20-0119
市立敦賀病院	三島町1丁目6-60	22-3611
健康センター	中央町2丁目16-52	25-5311
休日急患センター	中央町2丁目16-52	25-5311
敦賀市立看護大学	木崎78-2-1	20-5500
国民健康保険疋田診療所	疋田11-9-1	27-1106
国民健康保険東浦診療所	大比田34-16-1	28-1440
男女共同参画センター	本町2丁目1-20(南公民館3F)	23-5411
きらめきみなと館	桜町1-1	20-1100
敦賀きらめき温泉リラ・ポート	高野91-9-3	24-1126
敦賀赤レンガ倉庫	金ヶ崎町4-1	47-6612
人道の港 敦賀ムゼウム	金ヶ崎町44-1(金ヶ崎緑地内)	37-1035
敦賀鉄道資料館	港町1-25	21-0056
敦賀駅交流施設 オルパーク	鉄輪町1丁目1-19	20-0689
学校給食センター	野神12-16	22-0410
児童文化センター	櫛川42-2-1	25-7879
児童センター	櫛川42-2-1	25-7879
キッズパークつるが	神楽町2丁目2-4	22-8020
子育て総合支援センター	本町2丁目5-20	22-0147
粟野子育て支援センター	新和町1丁目3-10	25-5647
病児・病後児保育施設 はびけあ	三島町1丁目4-24	23-2723
公設地方卸売市場	古田刈66-1303-1	24-1522
天筒浄化センター	天筒町5-9	24-0411
昭和浄水場	野神12-1	22-2279
清掃センター	櫛川88-1-2	21-1153
衛生処理場	昭和町1丁目4-19	25-1888
敦賀斎苑	金山3-1-1	22-5257
中池見人と自然のふれあいの里	榎曲79号奥堀切	20-1110
黒河農村ふれあい会館	山43-42	21-3445
農産物直売所	砂流24-45	21-1571

〈社会教育〉

名称	所在地	電話
生涯学習センター	東洋町1-1	25-8318
東浦公民館	五幡32-8-1	28-1251
北公民館	曙町11-91	24-1545
南公民館	本町2丁目1-20	22-2866
西公民館	三島町2丁目19-8	21-2700
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川33-12	22-0895
中郷公民館	羽織町36-1	22-0192
愛発公民館	疋田37-1	27-1101
粟野公民館	御名53-19	22-0902
松原公民館	新松島町22-48	23-8990
図書館(視聴覚ライブラリー)	東洋町2-1	22-1868
プラザ萬象	東洋町1-1	22-9711
少年自然の家	野坂80-15	24-0052
少年愛護センター	東洋町1-1	23-0189
市民文化センター	桜町7-1	25-5125
市立博物館	相生町7-8	25-7033
みなとつるが山車会館	相生町7-6	21-5570
ハートフル・スクール	鋳物師町12-32	22-7072

〈福祉〉

名称	所在地	電話
やまびこ園	長谷47-21	21-1133
子ども発達支援センター	櫛川41-2-3	22-7172
福祉総合センター	東洋町4-1	22-1700

〈スポーツ〉

名称	所在地	電話
総合運動公園	沓見149-1	23-6638
市立体育館	松葉町1-2	22-5244
東浦体育館	阿曾77-12	28-1001
金山体育館	金山58	21-1130
中郷体育館	羽織町34(坂下)	21-2060
市営野球場	松島町30-1	22-4577
花城テニスコート	櫛川39-3	24-2379
粟野スポーツセンター	長谷47-54	21-1710
武道館	曙町11-80	25-5820
きらめきスタジアム	若泉町9-3	21-0066
敦賀市グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」	高野91-9-3	24-1126

●県の施設

名称	所在地	電話
嶺南振興局二州企画振興室	中央町1丁目7-42	22-0002
嶺南振興局二州税務部	中央町1丁目7-42	22-0050
嶺南振興局二州農林部	中央町1丁目7-42	22-5027
嶺南教育事務所敦賀駐在	中央町1丁目7-42	24-0421
交通事故相談所敦賀相談所	中央町1丁目7-42	0776-20-0518
嶺南振興局敦賀土木事務所	中央町1丁目7-36	22-5448
嶺南振興局敦賀港湾事務所	桜町2-1	22-0369
嶺南振興局二州健康福祉センター	開町6-5	22-3747
嶺南振興局敦賀児童相談所	角鹿町1-32	22-0858
敦賀産業技術専門学校	道口19-2-1	22-0143
水産試験場	浦底23-1	26-1331
原子力環境監視センター	吉河37-1	25-6110
敦賀警察署	木崎12-18-1	25-0110

●国の施設

名称	所在地	電話
福井地方検察庁敦賀支部	松栄町7-28	22-0062
福井地方法務局敦賀支局	松栄町7-28	25-0174
文部科学省敦賀原子力事務所	松栄町7-28	23-1610
北陸農政局福井地域センター敦賀支所	松栄町7-28	23-5700
福井地方裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
福井家庭裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
敦賀簡易裁判所	松栄町6-10	22-0812
大阪税関敦賀税関支署	港町7-15	22-0025
中部運輸局福井運輸支局	港町7-15	22-0003
敦賀海上保安部	港町7-15	22-0191
敦賀税務署	鉄輪町1丁目7-3	22-1010
ハローワーク敦賀	鉄輪町1丁目7-3	22-4220
敦賀労働基準監督署	鉄輪町1丁目7-3	22-0745
福井森林管理署松原森林事務所	松栄町7-28	25-0210
近畿地方整備局敦賀国道維持出張所	開町3-28-1	22-5166
北陸地方整備局敦賀港湾事務所	松栄町7-28	22-2590

●その他の施設

名称	所在地	電話
敦賀商工会議所	神楽町2丁目1-4	22-2611
中日本高速鉄金沢支社敦賀安全・サービスセンター	井川17-8-1	25-5223
敦賀市社会福祉協議会	東洋町4-1	22-3133
(公社)敦賀市シルバー人材センター	金山78-9(市野々町1丁目)	24-1250
(財)福井原子力センター	吉河37-1	23-1710
(一社)敦賀観光協会	神楽町2丁目2-4	22-8167
(公財)若狭湾エネルギー研究センター	長谷64-52-1	24-2300
独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター	桜ヶ丘町33-1	25-1600
港都つるが(株)	神楽町2丁目1-4	20-0015
敦賀郵便局	元町11-5	25-1002
日本年金機構敦賀年金事務所	東洋町5-54	23-9900

年代(西暦)	事 項
崇徳65年(前33)	朝鮮任那国の王子、都怒我阿羅斯等が来朝した。
成務5年(135)	9月 角鹿国造を定める。またこの頃、角鹿海直が配置された。
仲哀2年(193)	2月 角鹿に行幸あり行宮を興し筒飯宮という。神功皇后は角鹿を發し穴門へ向かわれた。
大宝2年(702)	8月 氣比神宮に仲哀天皇、神功皇后を合祀した。
和銅6年(713)	5月 角鹿の文字を敦賀と改めた。
天平3年(731)	越前国正税帳に敦賀郡が初めて見える。
延暦23年(804)	6月 この頃、渤海国の使節、相次いで来貢したので松原客館が創置。
延元元年(1336)	10月 後醍醐天皇の皇子、恒良・尊良兩親王を奉じて新田義貞が金ヶ崎城にたてこもる。(翌年落城した)
正平23年(1368)	8月 良如、西福寺を建立した。
文安2年(1445)	3月 西福寺に勅願所の宣旨を賜わる。
元龜元年(1570)	4月 織田信長が天筒山城を陥れ、翌日金ヶ崎城を開城した。
天正元年(1573)	8月 朝倉勢は刀根坂で敗れ、疋壇城、金ヶ崎城が落ち、義景は大野で自害し、信長は武藤舜秀を敦賀郡代官とした。
◇ 3年(1575)	8月 織田信長が敦賀に入る。翌日、羽柴秀吉・柴田勝家が杉津口に一揆を破った。
◇ 17年(1589)	羽柴秀吉は大谷吉継を敦賀城主に任じた。
寛永元年(1624)	3月 敦賀郡は一時公領となり、島田右京亮が代官となった。
◇ 11年(1634)	7月 酒井忠勝が小浜城主に任ぜられ、若狹敦賀郡・近江高島郡を支配。
◇ 16年(1639)	このころ西廻り航路が開かれ、入津する荷物は激減した。
正保2年(1645)	7月 氣比神宮の大鳥居を建立した。
元禄2年(1689)	8月 松尾芭蕉来敦、16日色ヶ浜に遊ぶ。
享保3年(1718)	12月 町火消しの制を定める。
宝暦6年(1756)	2月 全国人口調査。
明和7年(1770)	6月 大干ばつ、大凶作、近郷48ヶ村民が蜂起、敦賀役所に迫った。
文政10年(1827)	敦賀米会所を金辻子に置いた。
天保8年(1837)	3月 幸浜町から出火670軒焼失した。
嘉永6年(1853)	150日程雨が降らず、大干ばつとなる。
文久3年(1863)	茶町海岸の砲台場完成、異国船の襲来に備えた。
元氏2年(1865)	2月 武田伊賀守らが、刑場の露と消えた。
明治4年(1871)	7月 藩を廃止し、敦賀県を置く。
◇ 5年(1872)	10月 就将小学校を創置する。学校の初めで明治末の小学校は19校に達した。
◇ 9年(1876)	8月 敦賀県を廃し、滋賀県に属した。
◇ 11年(1878)	9月 電信が開始された。
◇ 12年(1879)	5月 郡役所を置き郡長を任命した。
◇ 14年(1881)	2月 福井県が置かれ、敦賀は福井県の管轄に入った。
◇ 14年(1881)	7月 立石岬に灯台を設置し、20日から点灯した。
◇ 15年(1882)	3月 敦賀・金ヶ崎の両停車場が設置された。
◇ 17年(1884)	4月 敦賀～長浜間の鉄道が開通した。
◇ 19年(1886)	萬象閣を建設し、公会堂とした。(敷地は敦賀県当時の区会所の地)
◇ 20年(1887)	5月 小学校が初めて松原で運動会をした。
◇ 21年(1888)	敦賀商工会が発足した。
◇ 22年(1889)	4月 町村制実施、泉・津内・三島の3村を敦賀町に統合した。
◇ 24年(1891)	5月 ウラジオストクでシベリア鉄道起工式を挙行した。
◇ 26年(1893)	5月 金崎宮鎮座式が挙行され、勅使参向。
◇ 28年(1895)	1月 氣比神社官幣大社に昇格。(3月26日に神社を神宮に改称)
◇ 29年(1896)	7月 敦賀～森田(福井)間に鉄道が開通する。
◇ 29年(1896)	10月 敦賀港、開港外貿易港に指定される。
◇ 29年(1896)	11月 税関出張所開庁、敦賀税務署を置く。
◇ 32年(1899)	7月 開港指定、翌年汽船武揚丸、牛荘から大豆、豆かすを初めて直輸入。
◇ 34年(1901)	4月 高等小学校1校、尋常小学校2校設置、商業補習学校も設けられた。
◇ 35年(1902)	2月 日本海命令航路が開設された。
◇ 39年(1906)	6月 町立商業学校が開校。
◇ 39年(1906)	7月 ロシアの東亜汽船が敦賀～ウラジオストク直通航路を開設し、1日初入港した。
◇ 40年(1907)	3月 電灯がついた。
◇ 42年(1909)	4月 市内電話が開設。
◇ 45年(1912)	6月 金ヶ崎へ寝台列車が運転開始した。
大正6年(1917)	6月 小浜線の敦賀～十村間開通。
◇ 7年(1918)	7月 敦賀～清津間を政府命令航路として開始。
◇ 9年(1920)	6月 敦賀鉄道棧橋を設置した。
◇ 9年(1920)	10月 第1回国勢調査(人口約38,380人)
◇ 14年(1925)	この年からラジオが聴取され、年々激増していった。
◇ 15年(1926)	ソ連領事館開庁。
◇ 15年(1926)	郡制廃止。
昭和3年(1928)	松原を「氣比の松原」と称し、国の名勝に指定された。
◇ 7年(1932)	松岡主席全権が欧州旅行のため敦賀港を出発。
◇ 8年(1933)	大和田荘七翁が町庁舎を新築寄贈した。

年代(西暦)	事 項
昭和9年(1934)	12月 東洋紡績(株)敦賀工場操業開始。
◇ 12年(1937)	2月 敦賀セメント(株)敦賀工場操業開始。
◇ 12年(1937)	4月 敦賀町、松原村を廃し敦賀市が誕生、臨時市長代理者森本一雄氏。
◇ 12年(1937)	6月 森本一雄氏が初代市長に就任。
◇ 13年(1938)	12月 若林義孝氏が第2代市長に就任。
◇ 14年(1939)	10月 じん芥焼却炉竣工。
◇ 15年(1940)	4月 県立敦賀中学校開校。
◇ 16年(1941)	4月 末原貫一郎氏が第3代市長に就任。
◇ 17年(1942)	10月 市立図書館開館。
◇ 18年(1943)	12月 湯山火葬場完成。
◇ 19年(1944)	4月 敦賀市の農業会が発足。
◇ 20年(1945)	4月 田保仁左衛門氏が第4代市長に就任。
◇ 20年(1945)	7月 空襲により市内中心部2/3以上を焼失。
◇ 21年(1946)	9月 敦賀商工会議所が再発足。
◇ 22年(1947)	4月 川原與作氏が第5代市長に就任。
◇ 22年(1947)	7月 市内バス(敦賀～松原)が開通。
◇ 23年(1948)	4月 県立敦賀高等学校(新制)創立。 敦賀～北海道定期航路が開設され、花咲丸が就航。
◇ 24年(1949)	6月 不二越鋳業(株)敦賀工場が操業開始。
◇ 24年(1949)	7月 開港50周年記念行事として「海の祭典」を催す。
◇ 26年(1951)	1月 敦賀港が重要港湾に指定される。
◇ 26年(1951)	4月 川原與作氏が第6代市長に就任。
◇ 27年(1952)	4月 日本ビーエスコンクリート(株)操業開始。
◇ 27年(1952)	5月 市制施行15周年記念式を行う。
◇ 28年(1953)	11月 漁港船だまり工事竣工。
◇ 30年(1955)	1月 近隣5ヶ村を編入合併し、新市が誕生。
◇ 30年(1955)	4月 畑守三四治氏が第7代市長に就任。
◇ 31年(1956)	4月 旧市内132町内を46町に整理統合。
◇ 32年(1957)	10月 敦賀～米原間の新線と交流電化開通。
◇ 33年(1958)	6月 日本～ナホトカ定期航路寄港地に指定。
◇ 33年(1958)	10月 全市に国民健康保険を実施。
◇ 34年(1959)	4月 畑守三四治氏が第8代市長に就任。
◇ 36年(1961)	1月 呉羽紡績(株)ナイロン工場の誘致を決定。
◇ 36年(1961)	2月 文化会館が完成。
◇ 36年(1961)	7月 衛生処理場完成。
◇ 37年(1962)	2月 国鉄との間に温泉利用権の契約締結。
◇ 37年(1962)	4月 県立敦賀工業高等学校開校。
◇ 37年(1962)	6月 北陸トンネル(13.87km)が完成。(敦賀～福井間が電化開通)
◇ 37年(1962)	7月 敦賀有料道路開通。
◇ 37年(1962)	10月 東洋紡績(株)ポリプロピレン工場誘致決定。
◇ 37年(1962)	11月 敦賀半島に原子力発電所の建設予定地決定。 敦賀半島が若狹湾国定公園に編入される。
◇ 38年(1963)	1月 未曾有の豪雪(積雪154cm)のため、市に雪害対策本部を設置。
◇ 38年(1963)	3月 市立敦賀病院改築工事竣工。
◇ 38年(1963)	4月 畑守三四治氏が第9代市長に就任。
◇ 38年(1963)	6月 永大産業(株)敦賀工場の誘致を決定。
◇ 38年(1963)	9月 1万トン岸壁改修完成。
◇ 39年(1964)	1月 温泉の名称を「敦賀トンネル温泉」と命名。
◇ 39年(1964)	4月 市内6農協が合併。
◇ 39年(1964)	5月 柳ヶ瀬線が80年の歴史を閉じて廃線。
◇ 39年(1964)	9月 敦賀トンネル温泉簡易水道配構造物工事及び配管工事竣工。通水式挙行。
◇ 39年(1964)	12月 市内7漁協が合併。
◇ 40年(1965)	4月 戸戸市と姉妹都市盟約締結。
◇ 40年(1965)	5月 市立北幼稚園を開園。
◇ 41年(1966)	8月 敦賀電報電話局舎が完成し、ダイヤル式自動となる。
◇ 41年(1966)	11月 敦賀港湾合同庁舎が完成。
◇ 42年(1967)	3月 上水道第1次工事完成。
◇ 42年(1967)	4月 市制施行30周年記念式を行う。 矢部知恵夫氏が第10代市長に就任。
◇ 43年(1968)	5月 杉津・横浜海岸が越前加賀国定公園に指定される。
◇ 43年(1968)	7月 市立体育館が竣工。
◇ 43年(1968)	8月 動力炉・核燃料開発事業団が敦賀半島の原電サイトを「新型転換炉」の建設候補地に選定。
◇ 43年(1968)	9月 日本ニッケル敦賀工場操業を開始。
◇ 43年(1968)	10月 第23回国体バレーボールと軟式野球競技を本市で開催。天皇・皇后両陛下ご来敦。
◇ 43年(1968)	11月 港大橋竣工。
◇ 43年(1968)	12月 ソ連邦極東知事団敦賀港視察。
◇ 44年(1969)	5月 市長ら一行4人、ソ連沿岸州等を訪問。
◇ 44年(1969)	8月 大型フェリーの敦賀寄港内定。
◇ 44年(1969)	開港70周年記念「つるが港まつり」を開催。
◇ 44年(1969)	10月 日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機臨界。

年代(西暦)	事 項
昭和44年(1969)	この年入港ソ連船が61隻に達し、開港以来の新記録となる。
◇ 45年(1970)	3月 日本原子力発電(株)敦賀発電所が営業運転をはじめ。
◇ 45年(1970)	6月 麻生口にゴミ焼却場竣工。
◇ 45年(1970)	7月 嶺南地区広域市町村圏が地方生活圏に指定される。
◇ 45年(1970)	8月 大型フェリー「すずらん丸」の就航記念式と川崎・松原A岸壁工事竣工式を行う。
◇ 45年(1970)	10月 北陸自動車道(高野～滋賀県柳ヶ瀬)路線発表。
◇ 45年(1970)	11月 敦賀美方消防組合本部発足。
◇ 45年(1970)	12月 動力炉・核燃料開発事業団の新型転換炉「ふげん」起工式。
◇ 46年(1971)	3月 西浦小立石分校・西愛発小駄口分校廃校。
◇ 46年(1971)	4月 矢部知恵夫氏が第11代市長に就任。 「養護老人ホーム」改築と「老人いこいの家」新築。 訪ソ青年の船出航。
◇ 46年(1971)	7月 原子力問題と自治調査団に市長・市議ら5人欧米視察に参加。
◇ 46年(1971)	10月 児童養護施設慈松園改築成る。
◇ 47年(1972)	3月 財団法人「福井原子力センター」発足。
◇ 47年(1972)	5月 「科学技術庁福井原子力連絡調整官事務所」設置される。 戦後初の対ソ輸出品(繊維)積出し。
◇ 47年(1972)	7月 松原小学校・ハバロフスク市第47小学校と日ソ愛鳥姉妹校に決定。
◇ 47年(1972)	8月 市営第1プール完成。
◇ 47年(1972)	9月 県水産試験場浦底に移転。
◇ 47年(1972)	10月 市の乳児医療費の支給制度開始。
◇ 47年(1972)	11月 北陸トンネル列車火災発生、市にり災害救援対策本部設置される。
◇ 47年(1972)	12月 木崎保育園が開園。
◇ 48年(1973)	3月 五幡小学校廃校。
◇ 48年(1973)	4月 重症児童園施設松原児童館開館。 粟野公民館完成。
◇ 48年(1973)	5月 市長日朝友好福井県代表団として朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。
◇ 48年(1973)	6月 PCB汚染対策本部設置される。 中郷公民館完成。
◇ 48年(1973)	7月 婦人施行35周年を記念して勤労福祉センター・働く婦人の家・勤労青少年体育センター完成。 湖西線(山科～近江塩津間)開通し、北陸本線に接続。
◇ 48年(1973)	9月 南小学校校舎の全面改築工事完成。
◇ 48年(1973)	10月 川崎・松原岸壁に鉱石上屋8.5トンクレーン完成。
◇ 48年(1973)	11月 北陸新幹線整備計画決定。(若狹ルートに決まる)
◇ 49年(1974)	3月 上水道第2次工事完成。敦賀平野一体に給水可能。つるが保育園完成。 桜ヶ谷公園完成。
◇ 49年(1974)	4月 公共下水道の基本計画決まる。
◇ 49年(1974)	5月 原子力発電訓練センター竣工式。
◇ 49年(1974)	6月 東郷公民館が完成。
◇ 49年(1974)	8月 市営第2プール完成。
◇ 49年(1974)	9月 国民健康保険東浦診療所開設。(阿曾)
◇ 49年(1974)	11月 旧市庁舎の閉庁式を行う。 新市庁舎竣工と5ヶ村合併20周年の記念式典を行う。 敦賀美方消防組合の本部庁舎竣工。
◇ 50年(1975)	3月 国鉄湖西線が全面開通。 国民健康保険東浦診療所大比田に移転新築。
◇ 50年(1975)	4月 松原公民館が開館。 粟野保育園が開園。 市営と畜場が全面改築完成。 矢部知恵夫氏が第12代市長に就任。
◇ 50年(1975)	7月 市の人口が6万人を突破。
◇ 50年(1975)	12月 相生町商店街アーケード完成により敦賀駅からのアーケード総延長2,788mとなる。
◇ 51年(1976)	2月 敦賀～ワニノ間の定期貨物配船第一船が入港。
◇ 51年(1976)	3月 ごみ焼却場30トン増設工事完成。
◇ 51年(1976)	4月 粟野南小学校開校。 櫛川保育園が開園。
◇ 51年(1976)	5月 大学・高校誘致期成同盟会設立総会開く。
◇ 51年(1976)	7月 第1回福井県婦人の船および訪ソ青年の船が出港。 市民文化センター建設のため旧市庁舎の惜別式を行う。
◇ 51年(1976)	8月 市長ら福井県ソ連邦極東地方港湾調査団は港湾調査および姉妹都市連携の議定書を交す。
◇ 51年(1976)	10月 福井県原子力センター落成。 敦賀港の異常潮位(108cm)で市に水防本部を設置。 敦賀～ワニノ間の定期貨物配船が月2便に増便。
◇ 52年(1977)	2月 積雪が136cmを記録し、昭和38年以降の豪雪となる。
◇ 52年(1977)	3月 青少年健全育成都市宣言を行う。

年代(西暦)	事 項
昭和52年(1977)	4月 市立図書館が移転新築し完成。
◇ 52年(1977)	7月 市民福祉会館の竣工式を行う。
◇ 52年(1977)	8月 敦賀市高校新設準備委員会が発足。
◇ 52年(1977)	9月 敦賀港とヴォストーチヌイ港の姉妹港盟約締結の調印式を行う。
◇ 52年(1977)	11月 市民文化センターが完成し、市制40周年・市民文化センター落成記念式典を行う。
◇ 52年(1977)	12月 北陸自動車道の敦賀～武生間開通式を行う。 新総合計画の策定。
◇ 53年(1978)	3月 初の国産発電用原子炉「ふげん」臨界。 金ヶ崎(天筒山)公園展望台完成。
◇ 53年(1978)	4月 岡山、荻生野公園が完成。 市民健康センター(休日急患センター、母子健康センター)落成。
◇ 53年(1978)	5月 青少年錬成センター竣工。
◇ 53年(1978)	6月 敦賀、韓国北坪青年会議所姉妹盟約締結。
◇ 53年(1978)	7月 経済友好訪中視察団中国訪問。 粟野南小学校総合落成式を行う。
◇ 53年(1978)	8月 市営野球場ナイター施設完成(粟野、角鹿中学校にも完成)。 歴史民俗資料館開館。 敦賀駅周辺整備連絡協議会発足。
◇ 53年(1978)	9月 第7回水産増殖に関する日ソ合同シンポジウム開催。 河野海岸有料道路開通。
◇ 53年(1978)	11月 敦賀高等学校校舎改築竣工。
◇ 54年(1979)	4月 松陵幼稚園開園。 市営上屋竣工式を行う。 一般廃棄物最終処分場竣工。 高木孝一氏が第13代市長に就任。
◇ 54年(1979)	5月 中日友好使節団来敦。
◇ 54年(1979)	7月 市営庭球場竣工。国際児童年記念訪ソ少年の船出航。
◇ 54年(1979)	8月 少年自然の家竣工。
◇ 54年(1979)	9月 開港80周年記念式典。 ソ連邦ナホトカ市民親善友好使節団来敦(195人)
◇ 54年(1979)	11月 新港建設の調査始まる。 成新小学校池ノ河内分校校舎完成。
◇ 55年(1980)	4月 市長ら韓国親善訪問団一行東海市生誕祝賀式に出席姉妹都市縁組の議定書に調印。 北陸自動車道敦賀～米原間開通。 岡山保育園開園。 資源エネルギー庁敦賀美浜管理専門官事務所開設。 勤労青少年ホーム落成。
◇ 55年(1980)	5月 こどもの国(児童文化センターなど)竣工。 中央公民館竣工。 市民憲章の制定。 第三次市総合計画基本構想市長に答申。
◇ 55年(1980)	7月 気比中学校校舎総合落成式。
◇ 55年(1980)	8月 市営第3プール完成。 石炭火力発電所誘致構想発表。 中国国際貿易促進委員会王耀庭氏ら一行来敦。
◇ 55年(1980)	10月 第1回敦賀マラソン開く。 帆船「海王丸」寄港一般公開。 敦賀美方消防組合発足10周年記念式典。
◇ 55年(1980)	11月 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機建設に係る公開ヒアリング。
◇ 55年(1980)	12月 電子計算機本稼動。
◇ 56年(1981)	1月 56豪雪積雪198cmを記録(明治30年敦賀測候所開設以来最高)
◇ 56年(1981)	3月 第三次総合計画の策定。 駅前広場改修工事完成。
◇ 56年(1981)	4月 韓国東海市との姉妹都市盟約締結調印式。 日本原子力発電(株)敦賀発電所の放射能漏えい事故。 新和保育園落成。
◇ 56年(1981)	5月 金山パイパス(岡山～野神間)開通式。
◇ 56年(1981)	6月 松原小学校校舎改築総合落成式。 新敦賀瓦斯「敦賀ガス」として再スタート。 黒河小学校校舎改築総合落成式。
◇ 56年(1981)	8月 置県100年記念で小浜線に蒸気機関車走る。
◇ 56年(1981)	9月 ソ連邦ナホトカ市民親善使節団一行200人来敦。 南極観測船「ふじ」入港一般公開。
◇ 56年(1981)	11月 第17回全日本菊花連盟全国大会開催。 葉原保育園開園。 ポリヤンスキー駐日ソ連邦大使来敦。
◇ 56年(1981)	12月 北陸電力(株)「石炭火力発電所」建設のための環境調査申し入れ。

年代 (西暦)	事 項
昭和57年 (1982)	1月 新港湾建設工事の起工式。
◇ 57年 (1982)	3月 初めての中国炭定期配船「サン・アルケス号」1万165トンが入港。
◇ 57年 (1982)	4月 中央小学校開校。 気比保育園移転改築完成。
◇ 57年 (1982)	4月 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機着工。
◇ 57年 (1982)	7月 高速増殖原型炉「もんじゅ」公開ヒアリング開催。
◇ 57年 (1982)	9月 防災行政無線設置。
◇ 57年 (1982)	10月 ソ連邦ナホトカ市において姉妹都市盟約締結調印。
◇ 57年 (1982)	11月 中央小学校総合落成式。
◇ 58年 (1983)	2月 笙の川に中央橋完成。
◇ 58年 (1983)	3月 二夜の川都市下水路「松島ポンプ場」完成。 第1回市民綱引き大会開く。 三島保育園を廃止し三島南保育園を三島保育園に。 敦賀市福祉基金設置。 岡山保育園を中郷保育園に改称。
◇ 58年 (1983)	4月 津内保育園と乳児保育園を統合し本町保育園が開園。 高木孝一氏第14代市長に就任。
◇ 58年 (1983)	5月 第1回親子のフェスティバル開く。 浩宮殿下若狭路(本市では西福寺・柴田氏庭園)を訪問。 国立療養所敦賀病院の改築工事完成。 高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可。
◇ 58年 (1983)	7月 公共下水道供用開始。天筒浄化センター完成通水式。 第1回市民すてな祭り開く。
◇ 58年 (1983)	9月 ソ連邦ナホトカ市に姉妹都市盟約調印記念として日本庭園を造る。 ソ連邦ナホトカ市民親善使節団来敦。
◇ 58年 (1983)	10月 移動図書館「なかよし号」巡回サービス開始。
◇ 58年 (1983)	12月 三島会館移転新築完成。北電「石炭火力発電所」建設に同意。
◇ 59年 (1984)	3月 西愛発小・中愛発小・東愛発小が廃校に。
◇ 59年 (1984)	4月 愛発小・中学校開校。 学校給食センター完成。 東浦体育館竣工。
◇ 59年 (1984)	5月 敦賀市訪ソ親善使節団派遣。
◇ 59年 (1984)	6月 愛発小・中学校総合落成式。 北小学校総合落成式。
◇ 59年 (1984)	7月 成新小学校プール・校舎落成式。 第1回敦賀少年の船派遣。 学校法人敦賀学園敦賀女子短期大学設置認可申請書提出。
◇ 59年 (1984)	9月 新港(鞠山北地区)の公有水面埋立免許。 韓国東海市から親善使節団来敦。
◇ 59年 (1984)	10月 追悼120年水戸烈士展開催。
◇ 59年 (1984)	11月 敦賀市公設地方卸売市場開場。
◇ 60年 (1985)	3月 白木トンネルが開通する。 粟野小学校・沓見小学校増改築工事が完成。 ナホトカ市から友好親善と日本料理研究のため使節団が来敦。 中央港湾審議会で敦賀港新港湾計画の変更が認められる。
◇ 60年 (1985)	4月 敦賀・北坪定期フェリー-早期就航促進期同盟会が設立。
◇ 60年 (1985)	6月 第2次日韓親善友好訪韓船で約400人が韓国を訪れる。
◇ 60年 (1985)	9月 気比神宮、昭和の大造営始まる。 ナホトカ市民親善使節団が来敦。
◇ 60年 (1985)	10月 高速増殖原型炉「もんじゅ」建設工事が始まる。
◇ 60年 (1985)	11月 第1回福井県菊花大会が本市で開かれる。 中国黒龍江省賓県、鶏西市から使節団が来敦。 東海市北坪・敦賀定期フェリー-早期就航推進委員会一行が来敦。
◇ 60年 (1985)	12月 敦賀女子短期大学、敦賀気比高校設置認可される。
◇ 61年 (1986)	1月 「西町の綱引き」国の重要無形文化財に指定される。
◇ 61年 (1986)	3月 公共下水道事業第2期計画(笙の川以西約250ha)事業許可を受ける。 葉原小学校・西小学校増改築工事が完成。 中郷小学校・粟野中学校増築工事が完成。
◇ 61年 (1986)	4月 敦賀女子短期大学開学。 敦賀気比高等学校開校。 松原保育園が完成。
◇ 61年 (1986)	5月 復元北前船「辰悦丸」が寄港し、一般公開される。 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機初臨界。
◇ 61年 (1986)	7月 敦賀工業高等学校総合完成式。 敦賀市友好訪中使節団の一行が中国東北部を訪問。
◇ 61年 (1986)	8月 第1回訪ソ児童親善使節団がナホトカを訪問。
◇ 61年 (1986)	10月 皇太子ご夫妻が若狭路をご訪問、中央公民館での国際フォーラムにご出席される。

年代 (西暦)	事 項
昭和61年 (1986)	12月 福井厚生年金健康福祉センター「サンピア敦賀」オープン。
◇ 62年 (1987)	2月 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機営業運転を始める。
◇ 62年 (1987)	3月 西浦小・中学校落成式。 健康管理センターが完成。 県道柳ヶ瀬トンネル開通式。
◇ 62年 (1987)	4月 総合運動公園陸上競技場の竣工式を行う。 高木孝一氏が第15代市長に就任。
◇ 62年 (1987)	5月 気比神宮の本殿などが完成し、正遷座祭、奉幣祭が行われる。
◇ 62年 (1987)	7月 敦賀(中～坂ノ下)・金山(坂ノ下～岡山)バイパスが開通。 市制50周年を記念し野坂山市民登山が行われる。
◇ 62年 (1987)	8月 市制50周年記念のシンボル塔「翔(はばたき)」が完成。 総合運動公園野球場竣工式。 ナホトカ市民親善使節団が来敦。 気比神宮大鳥居保存修理完成。
◇ 62年 (1987)	10月 市立敦賀病院の増改築工事が完成。
◇ 62年 (1987)	11月 市制50周年記念式典を行う。
◇ 63年 (1988)	2月 敦賀新港公共岸壁の一部を併用開始。
◇ 63年 (1988)	4月 敦賀女子短期大学第2代学長に瀬戸内寂聴さんが就任する。 敦賀気比高等学校付属中学校が開校。 常宮小学校落成式が行われる。 東浦小・中学校落成式が行われる。 プロ野球セ・リーグ公式戦(中日対ヤクルト)が行われる。 北陸電力(株)敦賀火力発電所起工式が行われる。
◇ 63年 (1988)	5月 総合運動公園ちびっ子広場、多目的広場が供用開始となる。
◇ 63年 (1988)	6月 敦賀西小学校プールの竣工式を行う。
◇ 63年 (1988)	7月 敦賀南小学校・中郷小学校プール竣工式を行う。 第3セクター嶺南ケーブルネットワーク(都市型CATV)発足。
◇ 63年 (1988)	8月 気比神宮大鳥居の夜間照明が始まる。
◇ 63年 (1988)	10月 水戸天狗党ウォーカー一行が水戸市より1,100kmを歩き新保に到着。 駅前にガス灯が設置される。
◇ 63年 (1988)	12月 角鹿中学校屋内運動場完成。
平成 元年 (1989)	3月 心身障害者福祉センター「太陽の家」落成式を行う。
◇ 元年 (1989)	4月 総合運動公園テニスコート・ちびっ子ゲレンデ完成。
◇ 元年 (1989)	5月 気比神宮昭和の大造営第2期工事竣工奉告祭が営まれる。
◇ 元年 (1989)	6月 総合運動公園に日本庭園の修景池が完成。
◇ 元年 (1989)	7月 開港90周年記念式典。
◇ 元年 (1989)	9月 第4次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 元年 (1989)	10月 岐阜県各務原市との友好都市盟約締結。
◇ 元年 (1989)	11月 CATV本放送開始。
◇ 2年 (1990)	1月 第4次敦賀市総合都市計画基本計画答申。
◇ 2年 (1990)	2月 敦賀港ポータルネットワーク21調査委員会の最終案まとまる。
◇ 2年 (1990)	4月 敦賀北幼稚園と北公民館竣工。 縄間2号線(県道佐田・立石・敦賀線)開通。
◇ 2年 (1990)	7月 沓見小学校プール竣工。 動力炉・核燃料開発事業団PR館アトムプラザ完成。 県道敦賀～今庄線、舞踏踏切に信号機設置。
◇ 2年 (1990)	9月 水戸烈士記念館(にしん蔵)修復完成。
◇ 2年 (1990)	10月 敦賀～釜山間定期コンテナ船第一船入港。 御船遊覧絃祭(金崎宮)が48年ぶりに復活。
◇ 2年 (1990)	11月 プラザ萬象落成記念式典。
◇ 3年 (1991)	1月 市立敦賀病院に超電導MRIシステム導入。 ソ連ワニノ港からの定期配船復活第一船入港。
◇ 3年 (1991)	2月 沓見保育園の改築移転。 全日本バレーボール(日本リーグ)敦賀大会。
◇ 3年 (1991)	3月 敦賀新港供用開始。 国道8号線局部改良開通(小河口～疋田間)。
◇ 3年 (1991)	4月 総合運動公園体育館竣工。 高木孝一氏第16代市長に就任。
◇ 3年 (1991)	5月 環にぼん海(東海)国際芸術祭が開催。
◇ 3年 (1991)	7月 産業経済部に国際交流貿易課を新設。 葉原小学校プール竣工。 敦賀市民間廃棄物最終処分場対策協議会設立。
◇ 3年 (1991)	8月 市立図書館落成オープン。 福井県対岸貿易促進協会敦賀事務所開所。 北陸電力(株)敦賀火力発電所営業運転開始。
◇ 3年 (1991)	10月 ごみの5分別収集が始まる。
◇ 3年 (1991)	11月 新港で大型多目的クレーンの起動式を行う。 清掃センター火入れ式。

年代 (西暦)	事 項
平成 4年 (1992)	2月 西公民館開館。
◇ 4年 (1992)	3月 敦賀市清掃センター総合落成。 消防緊急通信指令システム運用開始。
◇ 4年 (1992)	4月 南公民館開館。
◇ 4年 (1992)	5月 「洲崎の高燈籠」が福井県史跡に指定される。 赤崎小学校落成。
◇ 4年 (1992)	6月 敦賀市友好親善使節団派遣(ナホトカ市で花火大会開催)。 山形依希子さん(敦賀高校3年)が陸上・女子400障害で57秒65の日本新記録樹立。
◇ 4年 (1992)	7月 総合運動公園ローラー滑り台竣工。 白木漁港完成。 東浦小学校プール竣工。
◇ 4年 (1992)	8月 CATV全市内工事完成。
◇ 4年 (1992)	10月 地縁団体の認可指令書第1号交付式(津内町3丁目)。
◇ 4年 (1992)	11月 気比神宮御造営事業竣工。 工芸品「孔雀鎗金経箱」(西福寺所有)が重要文化財に答申される。
◇ 5年 (1993)	1月 旧大和田銀行本店(市立歴史民俗資料館)、常宮神社のフジ、観神社のカゴノキを市文化財に指定。
◇ 5年 (1993)	3月 金山保育園落成。 昭和浄水場第2配水池完成。
◇ 5年 (1993)	4月 一般国道27号線金山バイパス開通。 北陸電力(株)敦賀火力発電所2号機増設計画の申し入れ。 市立和幸園増改築工事完成。
◇ 5年 (1993)	5月 国際交流嶺南センター開所。
◇ 5年 (1993)	6月 JC青年の船「環日本海号」ロシア派遣。
◇ 5年 (1993)	7月 在日外国人高齢者福祉手当支給開始。 市立歴史民俗資料館が市立博物館に名称変更。 総合運動公園ゲートボール場竣工。
◇ 5年 (1993)	8月 大阪ガス(株)敦賀LNG基地計画環境調査の実施について申し入れ。
◇ 5年 (1993)	10月 北陸電力(株)敦賀火力発電所2号機・大阪ガス(株)敦賀LNG基地計画環境調査の実施について申し入れ。
◇ 5年 (1993)	11月 原子力発電所の新設・増設に関する住民投票条例制定を求める請求が提出され、12月に開かれた市議会臨時会で否決となる。
◇ 6年 (1994)	2月 橋本進吉博士顕彰歌碑の除幕式。
◇ 6年 (1994)	3月 市立看護専門学校落成式。 公立敦賀準看護学院開校式。
◇ 6年 (1994)	4月 高速増殖原型炉「もんじゅ」臨界。 敦賀市老人デイサービス事業開始。
◇ 6年 (1994)	7月 新規コンテナ航路就航記念式典。
◇ 6年 (1994)	8月 敦賀市総合運動公園弓道場竣工式。 日韓スポーツ交流大会開会式。 '94ふくい国際芸術祭・国際交流広場・民俗芸能大会。
◇ 6年 (1994)	11月 高規格救急自動車・救急救命士業務運用開始式。 市立敦賀病院東診療棟竣工式。 神楽町1丁目・本町1丁目アーケード起工式。
◇ 6年 (1994)	12月 敦賀市栗野スポーツセンター落成式。 敦賀港金ヶ崎地区岸壁工事着手。
◇ 7年 (1995)	1月 阪神・淡路大震災の災害見舞救援物資搬送。
◇ 7年 (1995)	2月 敦賀斎苑竣工式。
◇ 7年 (1995)	4月 河瀬一治氏第17代市長に就任。
◇ 7年 (1995)	7月 金山体育館起工式。
◇ 7年 (1995)	8月 第77回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト4進出。
◇ 7年 (1995)	12月 敦賀港が「港湾景観形成モデル事業」に指定される。 松原海岸が「事前環境保全型海岸整備モデル事業」に認定される。 防災対策室を設置し、各務原市・向日市と災害時相互応援協定を締結。 高速増殖原型炉「もんじゅ」二次系ナトリウム漏えい事故発生。
◇ 8年 (1996)	2月 敦賀市雪害対策本部が12年ぶりに設置される。
◇ 8年 (1996)	3月 一般国道476号線・国道8号バイパス17工区開通。 敦賀～大連・青島港(中国)間定期コンテナ航路開設。
◇ 8年 (1996)	5月 超高速フェリー「すずらん・すいせん」就航。 「敦賀市行政改革大綱」策定。
◇ 8年 (1996)	8月 「原子力政策円卓会議」敦賀市で開催。 第5次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 8年 (1996)	9月 街あかり創出事業道路照明灯点灯開始。
◇ 8年 (1996)	12月 敦賀～丹東港(中国)間定期コンテナ航路開始。 近畿自動車道敦賀線全線整備計画決定。
◇ 9年 (1997)	1月 ロシアタンカー油流出事故敦賀市災害対策本部設置。
◇ 9年 (1997)	2月 第5次敦賀市総合計画基本計画答申。

年代 (西暦)	事 項
平成 9年 (1997)	3月 シンボルロード化整備事業の工事が着手される。 北陸電力(株)敦賀火力発電所2号機の起工式が行われる。 中郷体育館落成式。
◇ 9年 (1997)	4月 「緊急告知放送」が「防災放送」へ切り替えられ、内容が充実された。
◇ 9年 (1997)	5月 「みなとつるが山車会館」開館。 敦賀市インターネットホームページ開設。 敦賀～上海港(中国)間定期コンテナ航路開設。
◇ 9年 (1997)	6月 市制施行60周年記念「スーパーバレーボール大会」開催。
◇ 9年 (1997)	7月 嶺南広域行政組合設置。
◇ 9年 (1997)	8月 第79回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト8進出。
◇ 9年 (1997)	11月 市制60周年記念式典開催。
◇ 10年 (1998)	3月 市営松原海水浴場「日本の海水浴場55選」に認定される。
◇ 10年 (1998)	4月 プール完成で「総合運動公園」総合完成。
◇ 10年 (1998)	9月 ハートフル・スクール(集団生活適応指導、教育相談)開所。 J24全日本選手権敦賀大会開催。
◇ 10年 (1998)	10月 コミュニティバス「はぎ号」運行開始。 バスケットボール日本リーグ(女子)敦賀大会開催。 全国原子力発電所所在地町村協議会創設30周年記念事業開催。 敦賀市防災総合訓練実施。
◇ 10年 (1998)	11月 福井県若狭湾エネルギー研究センター落成式。
◇ 10年 (1998)	12月 近畿自動車道敦賀線全線施工命令が出される。
◇ 11年 (1999)	1月 五木ひろしさんによる開港100周年イメージソング発表会(3曲)開催。
◇ 11年 (1999)	2月 鞠山南地区多目的国際ターミナル起工式。
◇ 11年 (1999)	3月 福祉総合センター「あいあいプラザ」落成式。 近畿自動車道敦賀線(小浜～敦賀間)中心杭打式。 中郷スポーツ広場竣工。
◇ 11年 (1999)	4月 25年ぶりに「大相撲敦賀場所」開催。 情報公開及び個人情報保護制度答申。 河瀬一治氏第18代市長に就任。
◇ 11年 (1999)	7月 シンボルロードに彫刻像設置。 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機一次冷却水漏えい事故発生。 敦賀～新潟～秋田～苫小牧に定期フェリー就航。 敦賀博開港100周年記念事業「つるが・きらめきみなと博21」開催。 中国台州市と友好協議書調印。
◇ 11年 (1999)	8月 敦賀高校が19年ぶりに夏の甲子園出場。
◇ 11年 (1999)	9月 大阪ガス(株)がLNG基地計画の10年延期を発表。
◇ 11年 (1999)	10月 きらめきみなと館オープン。
◇ 12年 (2000)	1月 情報公開制度スタート。
◇ 12年 (2000)	2月 北陸電力(株)敦賀火力発電所2号機火入れ式。 市民温湯施設温湯掘削工事安全祈願祭。 日本原子力発電(株)敦賀発電所3・4号機増設事前了承受理。
◇ 12年 (2000)	3月 初の住民参加による原子力防災訓練実施。
◇ 12年 (2000)	4月 介護保険制度スタート。
◇ 12年 (2000)	6月 きらめきスタジアム落成式。 民間廃棄物最終処分場の早期終息についての要望書を知事へ提出。 敦賀市から初めての衆議院議員(高木 毅氏)誕生。
◇ 12年 (2000)	7月 北陸新幹線(南越(仮称)・敦賀間)環境影響評価準備書公表。 民間廃棄物最終処分場問題対策協議会発足。
◇ 12年 (2000)	9月 防災公園(松島中央公園)完成。
◇ 12年 (2000)	10月 栗野公民館落成式。 都市計画マスタープランまとまる。
◇ 12年 (2000)	12月 もんじゅ工事計画事前了承受理。
◇ 13年 (2001)	1月 「敦賀市雪害対策本部設置」(積雪95cm)。
◇ 13年 (2001)	3月 敦賀市役所がISO14001の認証を取得。
◇ 13年 (2001)	4月 敦賀警察署神宮前警部交番が完成。
◇ 13年 (2001)	5月 敦賀消防署気比分遣所庁舎が気比神宮前へ移転。
◇ 13年 (2001)	7月 敦賀港外国貿易定期コンテナ航路の増便。 敦賀港～釜山港間 1便増。
◇ 13年 (2001)	9月 敦賀市水道水源保護条例公布。
◇ 13年 (2001)	11月 中国浙江省台州市と姉妹都市提携調印。
◇ 14年 (2002)	1月 敦賀港CFS(コンテナフレートステーション)竣工。
◇ 14年 (2002)	2月 福井県敦賀原子力防災センター(オフサイトセンター)開設。 黒河保育園落成式。
◇ 14年 (2002)	3月 第5次敦賀市総合計画第2期基本計画策定。 大阪ガス(株)敦賀LNG基地建設計画の中止を決定。
◇ 14年 (2002)	6月 近海郵船(株)「RORO船」敦賀～苫小牧に航路開設。

年代(西暦)	事 項
平成14年(2002) 7月	港都つるが株式会社設立。
◇ 14年(2002) 8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼働。 東郷コミュニティセンター落成式。 近畿自動車道敦賀線設計協議調印。
◇ 14年(2002) 10月	敦賀～青島港間直行航路開設。
◇ 14年(2002) 11月	衛生処理場クリーンピア落成。 JR湖西線・北陸本線直流化基本合意調印。
◇ 14年(2002) 12月	敦賀きらめき温泉リラ・ポートオープン。 日本原子力発電(株)敦賀発電所3・4号機増設計画事前了解。
◇ 15年(2003) 1月	高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可無効の判決。
◇ 15年(2003) 2月	戸籍総合システム稼働。
◇ 15年(2003) 3月	JR小浜線電化開業。 敦賀港「金ヶ崎臨港トンネル」および「金ヶ崎緑地」供用開始。 新型転換炉原型炉「ふげん」発電所運転終了。
◇ 15年(2003) 4月	河瀬一治氏第19代市長に就任。
◇ 15年(2003) 6月	生涯学習センターオープン。
◇ 15年(2003) 7月	西公民館を元中央公民館へ移転。
◇ 15年(2003) 9月	新型転換炉原型炉「ふげん」開発業務終了。
◇ 15年(2003) 10月	JR湖西線・北陸本線直流化工事着工。
◇ 16年(2004) 3月	栗野駅併設施設オープン(JR栗野駅)。 国道476号木ノ芽峠トンネル開通式(敦賀市新保～今庄町上坂取)。
◇ 16年(2004) 4月	敦賀市男女共同参画推進条例施行。
◇ 16年(2004) 5月	沓見地区のお田植祭りが18年ぶりに復活。
◇ 16年(2004) 6月	JR直流化活性化・利用促進協議会設立。 敦賀市指定文化財新指定 国立福井病院のユーカリの木 1株。
◇ 16年(2004) 7月	日本原子力発電(株)敦賀発電所3・4号機工事着工。
◇ 16年(2004) 8月	国道8号バイパス19工区本格着工。
◇ 16年(2004) 10月	つるが・みなと浪漫(若狭路もてなし「食」フェア in つるが／つるが観光物産フェア2004)。
◇ 16年(2004) 11月	敦賀子育て総合支援センター開所。 北陸新幹線南越敦賀間工事実施計画認可申請決定。
◇ 17年(2005) 2月	もんじゅのナトリウム漏えい対策等に係る工事計画了解。
◇ 17年(2005) 3月	愛発小中学校 最後の卒業式 21年の歴史に幕。
◇ 17年(2005) 4月	北・南公民館に民間人材を登用。 市立敦賀病院北診療棟竣工式。
◇ 17年(2005) 5月	遊行のお砂持ち 11年ぶりに行われる。
◇ 17年(2005) 6月	敦賀市産業団地調印式 (株)アイケープラスと契約(進出企業第1号)。
◇ 17年(2005) 9月	敦賀市男女共同参画都市宣言。
◇ 17年(2005) 10月	原子力安全基盤機構が福井事務所を設置。 第20回国民文化祭・ふくい2005が開幕。敦賀市では「邦楽の祭典」、「能楽の祭典」、「俳句大会」、「華のフェスティバル」などを行う。
◇ 17年(2005) 11月	敦賀インターに大型歓迎塔を設置。
◇ 17年(2005) 12月	北陸新幹線南越～敦賀間工事実施計画認可申請。
◇ 18年(2006) 1月	敦賀市産業団地調印式 (株)巴川ファインコーティング(現株TFC)と契約(進出企業第2号)。
◇ 18年(2006) 3月	葉原小学校開校式を開催。 第4次敦賀市行政改革大綱を策定。
◇ 18年(2006) 4月	市民活動支援室が男女共同参画センターに開設。 東浦公民館(五幡)完成。
◇ 18年(2006) 7月	みなと観光交流促進プロジェクトに敦賀港が選ばれる。
◇ 18年(2006) 8月	AEDを市の公共施設及び市立小中学校に配備。
◇ 18年(2006) 9月	遊教塾がスタート。
◇ 18年(2006) 10月	JR新足田駅が完成。 敦賀高校創立100周年記念式典を開催。 JR湖西線・北陸線直流化開業。つるが海道浪漫2006、つるが観光物産フェアなど多数の直流化開業イベントが開催される。
◇ 18年(2006) 12月	市立敦賀病院第3次整備事業完了。
◇ 19年(2007) 3月	赤崎最終処分場が完成。 敦賀市第5次総合計画第3期基本計画を策定。
◇ 19年(2007) 4月	公立幼稚園、小学校、中学校が2学期制試行を実施。 つるがFM・ハーバーステーション開局。 河瀬一治氏第20代敦賀市長に就任。
◇ 19年(2007) 6月	敦賀～釜山港間定期航路が1年ぶりに週1便体制復活。
◇ 19年(2007) 7月	献血運動推進全国大会のため、皇太子殿下が来敦。 循環型社会を目指した三者協定を締結。(敦賀市・福井県民生協同組合・敦賀市消費者連絡協議会)
◇ 19年(2007) 11月	市制施行70周年記念式典を開催。 エネルギー連携大学拠点化構想が策定される。
◇ 20年(2008) 1月	敦賀市防災センター完成。
◇ 20年(2008) 3月	人道の港 敦賀ムゼウム開館。

年代(西暦)	事 項
平成20年(2008) 4月	西福寺建造物が国の重要文化財に指定。
◇ 20年(2008) 9月	敦賀港鞠山地区の「多目的国際ターミナル」が一部供用開始。
◇ 20年(2008) 11月	国の名勝「柴田氏庭園」が敦賀市に寄附される。 国道8号線敦賀バイパスが全線開通。
◇ 21年(2009) 2月	敦賀～釜山定期コンテナ航路が増便。週3便体制に。
◇ 21年(2009) 3月	市内のスーパー、ドラッグストアなどで一斉にレジ袋有料化。 敦賀鉄道資料館がオープン。 木崎保育園落成式。 敦賀水産卸売市場が新しくオープン。
◇ 21年(2009) 4月	敦賀水産卸売市場が新しくオープン。
◇ 21年(2009) 5月	皇室献穀粟 27年ぶりに敦賀で奉耕。
◇ 21年(2009) 8月	敦賀港開港110周年記念行事の開催。
◇ 21年(2009) 10月	「奥の細道」敦賀サミットの開催。
◇ 21年(2009) 11月	主要地方道佐田竹波敦賀線「馬背峠トンネル」が開通。
◇ 21年(2009) 12月	市内路線バスをコミュニティバスに一本化。
◇ 22年(2010) 2月	日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機の40年超え運転について、6年間の運転延長を了承。 第82回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校ベスト8進出。 APEC ジュニアフォーラムを敦賀市で開催。 敦賀西小学校グラウンドから敦賀城の一部とみられる礎石などが出土したと発表。
◇ 22年(2010) 4月	市立博物館が「旧大和田銀行本店」として県文化財に指定される。
◇ 22年(2010) 5月	大町田遺跡から古墳時代の絵土器片が出土。 高速増殖原型炉「もんじゅ」が14年5ヶ月ぶりに運転再開。
◇ 22年(2010) 6月	APEC エネルギー大臣会合記念事業開催。
◇ 22年(2010) 8月	敦賀港が全国の重要港湾(103港)の中から「重点港湾」(43港)に選ばれる。 防災情報受信機(防災ラジオ)の市民への貸与開始。 第6次敦賀市総合計画基本構想を策定。
◇ 22年(2010) 9月	台風9号が観測史上初、敦賀市付近に直接上陸。
◇ 22年(2010) 10月	敦賀港鞠山地区多目的国際ターミナルが全面供用開始。 中郷公民館が落成。
◇ 22年(2010) 11月	敦賀市農産物直売所「ふるさと夢市場」オープン。
◇ 23年(2011) 1月	計測開始以来初めて地下水位低下警報を発令。 大雪により交通網がまひ。敦賀市雪害対策本部を設置(積雪78cm)。
◇ 23年(2011) 2月	市議会3月定例会で、平成21年度市歳入歳出決算が不認定となる。決算不認定は43年ぶり。
◇ 23年(2011) 3月	東日本大震災の被災地へ救援物資を搬送。被災者救援のため医師、看護師らが岩手県陸前高田市へ出発。 西浦児童館休館式。
◇ 23年(2011) 4月	敦賀美万消防組合の敦賀・美浜・三方消防団に初の女性団員が誕生。 河瀬一治氏第21代敦賀市長に就任。 被災地支援のため宮城県山元町へ保健師を派遣。
◇ 23年(2011) 8月	被災地支援のため宮城県石巻市へ市職員を派遣。 第6次敦賀市総合計画実施計画策定。
◇ 23年(2011) 9月	台風15号の影響で井の口川が増水。敦賀市で初めての避難勧告を「筋生野・萩野町」に発令。
◇ 23年(2011) 10月	敦賀市認知症高齢者及び障がい者徘徊等ネットワーク協議会設立。
◇ 23年(2011) 11月	敦賀港が「国際フェリー・国際RORO船」分野で日本海側拠点港に選定される。
◇ 23年(2011) 12月	北陸新幹線敦賀までの着工認可方針決定。
◇ 24年(2012) 2月	福井大学附属国際原子力工学研究所が完成。 県内の全ての原子力発電所が停止。
◇ 24年(2012) 3月	新和さきどり保育園が完成。 新和保育園・和久野保育園園式。
◇ 24年(2012) 4月	敦賀市教育委員会独自教育カリキュラム「敦賀スタンダード」完成。 沓見児童クラブが完成。 舞鶴若狭自動車道「敦賀南スマートIC(仮称)」の連結が許可される。 敦賀消防署消防訓練センターが完成。
◇ 24年(2012) 5月	敦賀西小学校総合落成式。
◇ 24年(2012) 6月	北陸新幹線金沢・敦賀間が着工認可される。
◇ 24年(2012) 7月	中池見湿地がラムサール条約湿地に登録される。 敦賀・長浜間鉄道開通130周年などを記念した「つるが「鉄道と港」フェスティバル」が開催される。
◇ 24年(2012) 8月	ロシア・ナホトカ市長が来敦し姉妹都市締結30周年を記念した共同宣言に調印。
◇ 24年(2012) 10月	岩手県大槌町からの災害廃棄物の試験焼却を実施。

年代(西暦)	事 項
平成24年(2012) 10月	粟野子育て支援センターが完成。
◇ 24年(2012) 11月	中国との定期航路が6年ぶりに復活。
◇ 24年(2012) 12月	JR敦賀駅のバリアフリー化工事が完成。
◇ 25年(2013) 1月	岩手県大槌町の災害廃棄物の量が大幅に減少したことを受けて、敦賀市の受け入れを中止。
◇ 25年(2013) 3月	敦賀短期大学で最後の卒業式と開学式。27年の歴史に幕。 敦賀市子ども発達支援センター開所式。 敦賀市立看護大学設置認可申請書を提出。 第85回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校がベスト4に進出。
◇ 25年(2013) 4月	白木区の「門ヶ崎」を市文化財(名勝)に指定。
◇ 25年(2013) 5月	日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機直下の破砕帯が、原子力規制委員会から「耐震設計上考慮する活断層」と評価される。 産業団地に(株)ナ・デックスプロダクツの研究開発施設が完成。
◇ 25年(2013) 6月	敦賀市地域防災計画を改定。
◇ 25年(2013) 8月	世界少年野球大会福井大会が開催。
◇ 25年(2013) 9月	敦賀まつり カーニバル大行進に東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが登場。 台風18号の影響で市内全域に「土砂災害に関する避難勧告」を発令。福井地方気象台が運用後初の「大雨特別警報」を発表。 高木毅衆議院議員が国土交通副大臣に就任。
◇ 25年(2013) 10月	博物館通り「テナントミックス」の3店舗がオープン。 歴史的な街並みの整備を行う。 敦賀市立看護大学が設置認可。 産業団地に日本ゼオン(株)の新工場が完成。
◇ 25年(2013) 11月	県建設のコンテナ貨物荷さばき施設「鞠山南コンテナ・フレート・ステーション(CFS)」が完成。
◇ 25年(2013) 12月	敦賀港の年間国際コンテナ貨物取扱量が3万TEUに達し、過去最高を記録。
◇ 26年(2014) 2月	奈良県の4市と原子力災害時における敦賀市民の県外広域避難に関する協定を締結。
◇ 26年(2014) 3月	西浦中学校休校。
◇ 26年(2014) 4月	敦賀市立看護大学開学。 敦賀駅交流施設「オルパーク」オープン。
◇ 26年(2014) 7月	「命のビザ」で敦賀港に上陸したレオ・メラメド氏が73年ぶりに敦賀を再訪。 舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイウェイ)が全線開通。
◇ 26年(2014) 11月	敦賀港イルミネーション「ミライエ」開催。
◇ 27年(2015) 1月	北陸新幹線の金沢敦賀間の開業3年前倒しが正式決定。
◇ 27年(2015) 3月	常宮小学校・西浦小学校休校。
◇ 27年(2015) 4月	第87回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校が北陸勢初の優勝。 洲上隆信氏第22代敦賀市長に就任。 日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機が運転を終了。
◇ 27年(2015) 5月	市道西浦1号線暫定供用開始。
◇ 27年(2015) 7月	市立博物館リニューアルオープン。
◇ 27年(2015) 10月	敦賀駅前広場が竣工、供用開始。 復興大臣が高木毅衆議院議員就任。 敦賀赤レンガ倉庫リニューアルオープン。
◇ 27年(2015) 11月	原子力規制委員会が文部科学大臣に高速増殖原型炉もんじゅの運営主体の変更を勧告
◇ 28年(2016) 4月	敦賀市グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」オープン。
◇ 28年(2016) 8月	第6次敦賀市総合計画後期基本計画(敦賀市再興プラン)策定。
◇ 28年(2016) 9月	愛発舟川の里が完成。 敦賀市教育振興基本計画策定。
◇ 28年(2016) 10月	氣比神宮境内が国名勝「おくのほそ道の風景地」に指定される。
◇ 28年(2016) 11月	新松原公民館が完成。
◇ 28年(2016) 12月	原子力関係関係会議において高速増殖原型炉もんじゅ廃炉措置方針の決定。
◇ 29年(2017) 2月	敦賀市産業団地(筋生野)全15区画の分譲完了。 市立博物館(旧大和田銀行本店本館)が国の重要文化財に指定される。
◇ 29年(2017) 3月	敦賀市立看護専門学校で最後の卒業式と閉校式。23年の歴史に幕。 舞鶴若狭自動車道の敦賀南スマートインターチェンジが開通。
◇ 29年(2017) 4月	「キッズパークつるが」オープン。
◇ 29年(2017) 8月	国土交通省から「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定される。 敦賀市を含めた11市町が文化庁に申請していた「北前船寄港地・船主集落」が日本遺産に認定される。 台風5号の影響で、釜の川の水位が最大3.69mに達し、敦賀市初の避難指示(緊急)を発令。

年代(西暦)	事 項
平成29年(2017) 9月	海外大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に初寄港。
◇ 29年(2017) 11月	市制施行80周年記念式典を開催。
◇ 29年(2017) 12月	氣比神宮大鳥居保存修理完成。
◇ 30年(2018) 3月	国道8号田結-拳野間のバイパス整備の事業化決定。
◇ 30年(2018) 8月	敦賀市と東芝エネルギーシステムズ(株)が「水素サプライチェーン構築に関する基本協定」を締結。 高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置作業開始
◇ 30年(2018) 9月	福井しあわせ元気国体(第73回国民体育大会)開催。 敦賀市では、水泳、卓球、軟式野球、ソフトボール、弓道、空手道の6競技を開催。
◇ 30年(2018) 10月	福井しあわせ元気大会(第18回全国障害者スポーツ大会)開催。敦賀市では、水泳、フットベースボールの2競技を開催。皇太子殿下が来敦。
◇ 31年(2019) 3月	敦賀市第2産業団地への初の進出企業として楠原輸送(株)が決定。 敦賀市立病児・病後児保育施設「はびけあ」落成式。
◇ 31年(2019) 4月	近海郵船(株)「RORO船」敦賀-博多に航路開設。 洲上隆信氏第23代敦賀市長に就任。
令和 元年(2019) 6月	敦賀駅前立体駐車場の供用開始。
◇ 元年(2019) 7月	敦賀港開港120周年に合わせ、海上自衛隊護衛艦「かが」が敦賀港に寄港。
◇ 元年(2019) 12月	都市計画道路 岡山松陵線が全線開通。 北陸初の再エネ水素ステーションが敦賀市公設地方卸売市場内に開所





敦賀市勢要覧 2020

編集・発行：敦賀市 〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL 0770-21-1111(代)
FAX 0770-22-6220
URL <https://www.city.tsuruga.lg.jp/>
mail his yokouhou@ton21.ne.jp